

お知らせ: 次回発信日は11月14日週報(予定)

Jミルクが2024年9月27日に公表した「需給見通し(※2024年8月迄実績)」の予測値と直近の実績値(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

・9月の生乳需給実績について、飲用等向(日均量)は、乳価改定から8月で1年が経過したものの前年同期比では▲1.4%と前年割れとなった。牛乳の生産量は+0.1%となった一方、成分調整牛乳、加工乳、乳飲料はいずれも前年割れとなり、牛乳類トータルでも前年を下回った。生乳生産量(日均量)は、前年同期比+1.0%と2カ月連続で上回った。地域別に見ると北海道では、+3.5%と回復基調で推移している一方、都府県は▲2.4%と3カ月連続で前年を下回った。指定団体受託乳量(速報)では、北海道(ホクレン)が8月下旬から10月下旬まで7旬連続で前年水準を上回っている。都府県は6月中旬から前年割れが続いているが、減少率は縮小傾向で推移している。

・生乳生産量が増加する一方で、飲用等向け数量が減少したことを受け、脱脂粉乳の9月の生産量は+19.3%と2カ月連続で前年越えとなった。推定出回り量は、前年同月に比べて在庫低減対策の取り組み数量が少なかったことなどから▲10.5%と3カ月連続で前年割れとなった。単月での脱脂粉乳需給は供給量が需要量を下回り月末在庫量は49.1千ト(▲16.4%)と減少率をやや縮小させたものの24週連続で前年水準を下回り、5か月ぶりに4万ト台となった。バター生産量は+26.3%で、推定出回り量は▲7.9%。国家貿易による輸入売渡分(約0.7千ト)も考慮すると、在庫量は26.0千ト(+0.1%)と、29か月ぶりに前年水準を上回った。

・牛乳類の10月の販売動向について、牛乳は前年同月比+0.3%と2か月ぶりに前年水準を上回ったが、成分調整牛乳や加工乳、乳飲料は前年割れとなり牛乳類トータルでも前年割れとなった。加工乳が前年水準を下回るのは7か月ぶり。価格改定から一巡後も、牛乳類の消費は低調に推移しているため、引き続き牛乳類の需要拡大に向けた取り組みが求められる。Jミルクでは、11月16日に東京・豊洲で「土日ミルクフェス2024」を開催し、昨年に続き、今年も全国の酪農乳業関係者やミルクファンらが一体となり、国産の牛乳乳製品の楽しみ方や酪農乳業の魅力などを発信する。

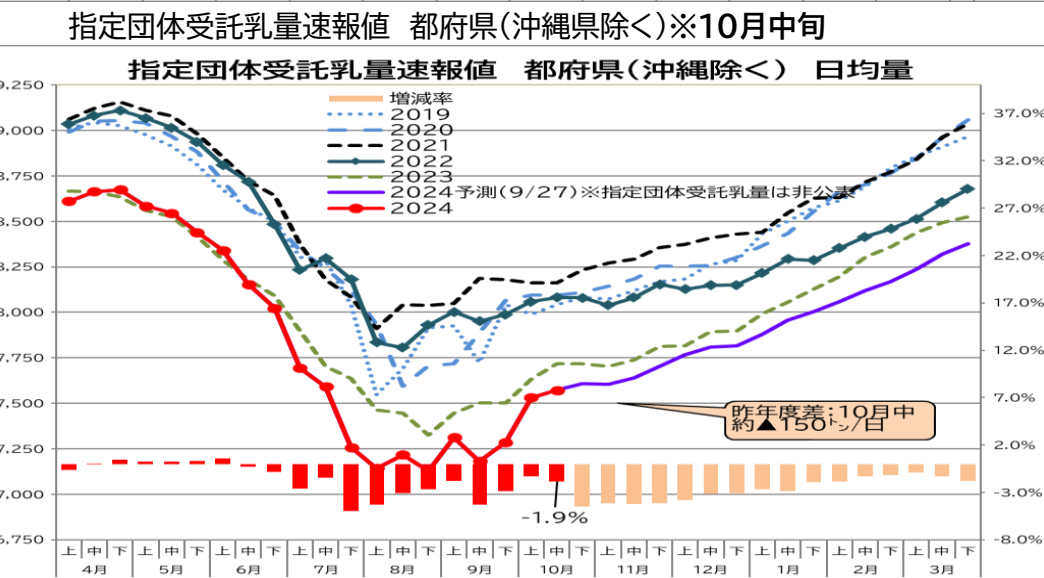
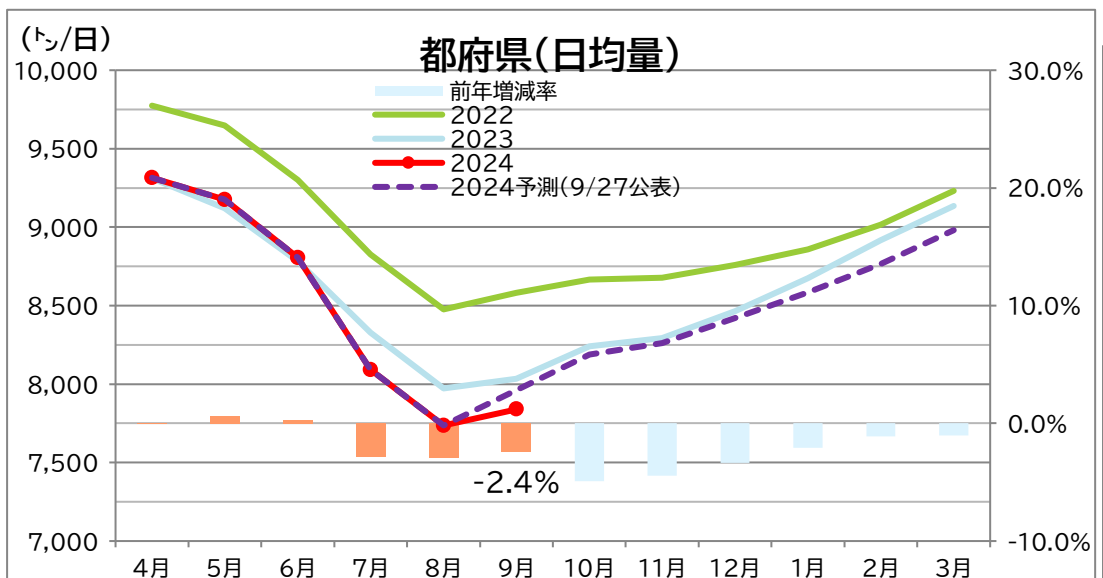
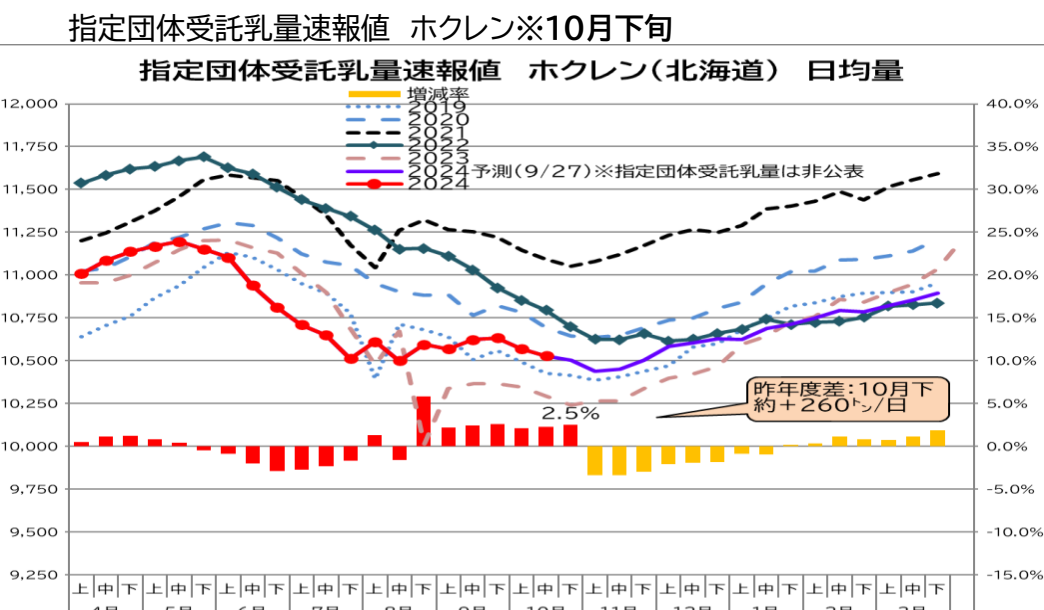
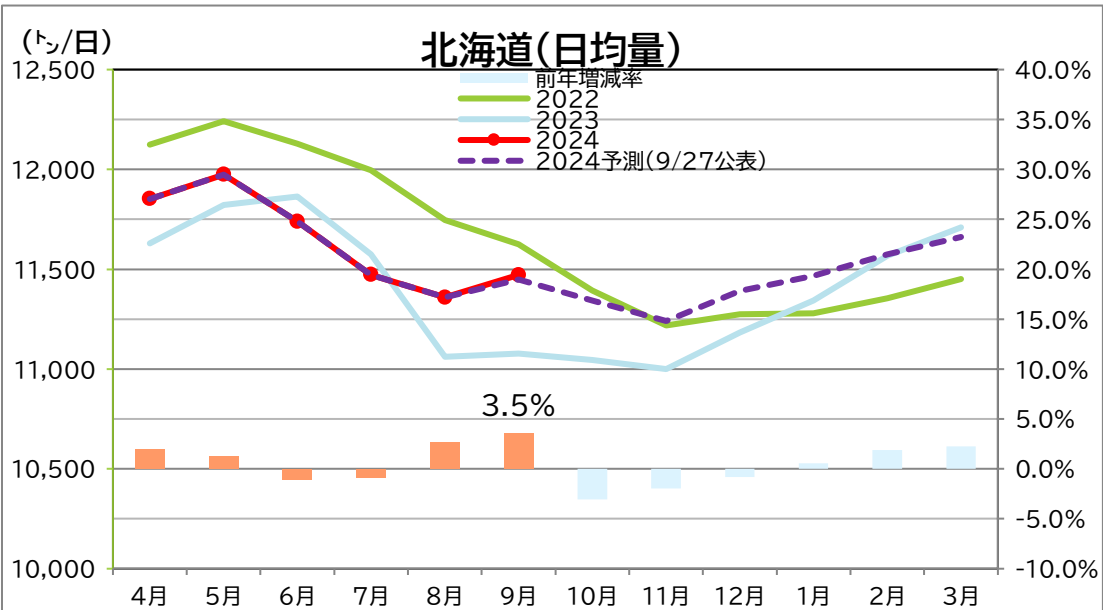
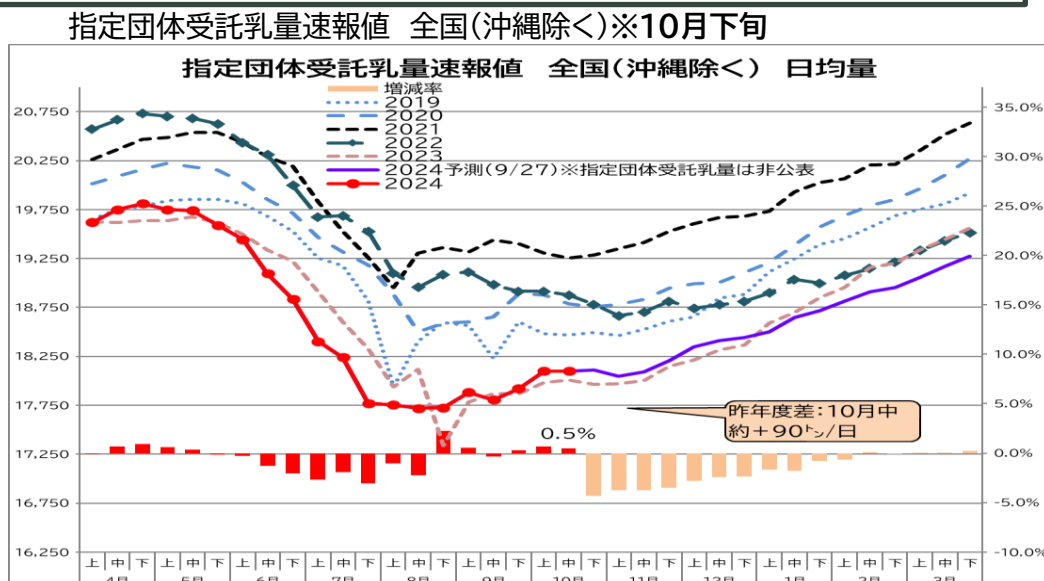
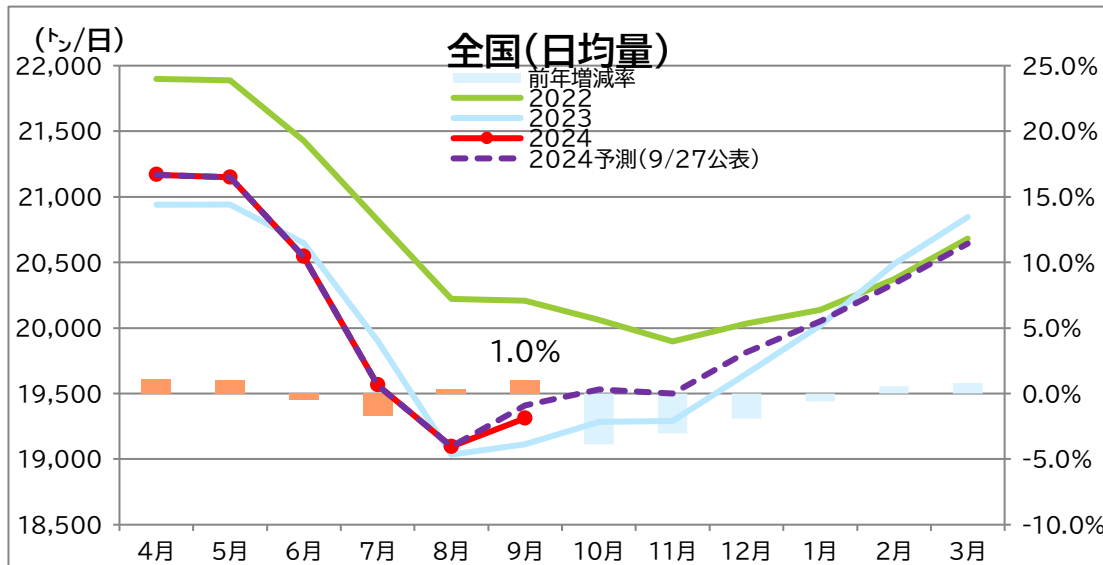
・直近(10/28週)の販売動向は、牛乳が前年比▲2.0%と3週ぶりに前年水準を下回った。他の品目も前年割れとなり、牛乳類トータルは▲3.7%となった。はっ酵乳の販売個数はドリンクタイプと個食タイプが前年水準を下回る一方、大容量タイプは前年水準を上回った。ドリンクタイプが前年割れとなるのは4週ぶりで、大容量タイプは9週連続で前年超えを維持している。家庭用バターは、価格が高止まりする中、9週連続で前年水準を下回っている。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)9月の生乳生産量は、全国579.3千ト(前年同月比101.0%)、北海道344.1千ト(同103.5%)、都府県235.2千ト(同97.6%)。

(2)9月に公表したJミルク予測値(全国582.3千ト、北海道343.5千ト、都府県238.3千ト)との比較は北海道が上振れし、都府県は下振れ、全国も下振れとなった。

(3)直近の指定団体受託乳量速報値は全国が10月中旬(最新、以下同)で同100.5%、都府県(沖縄除く)が同98.1%、北海道は10月下旬で同102.5%となった。

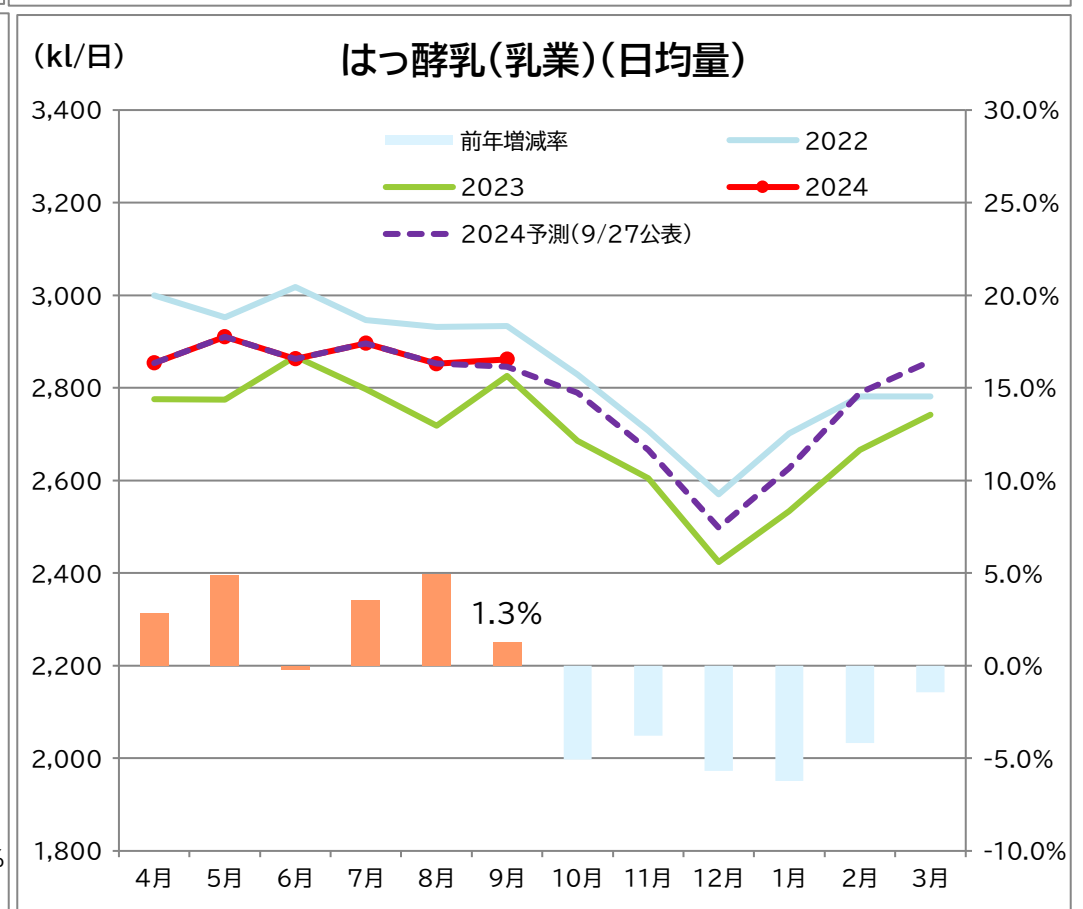
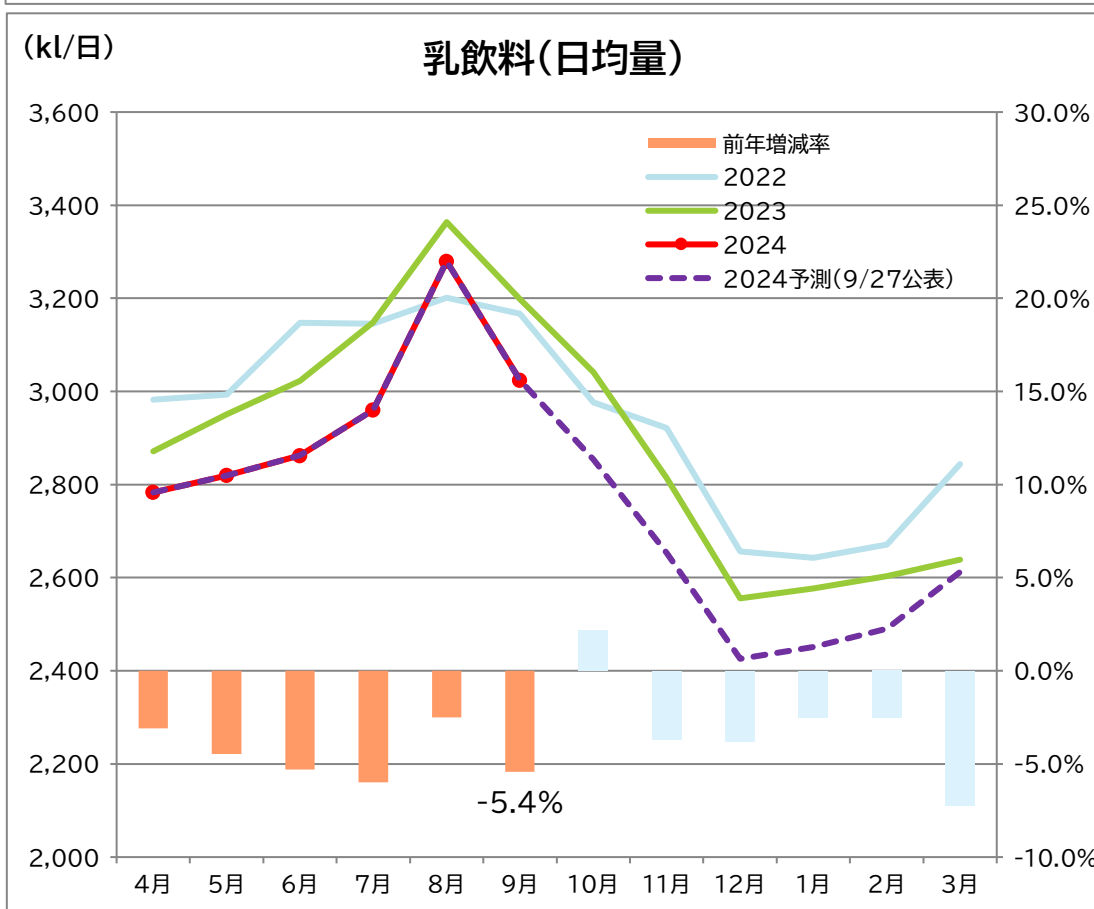
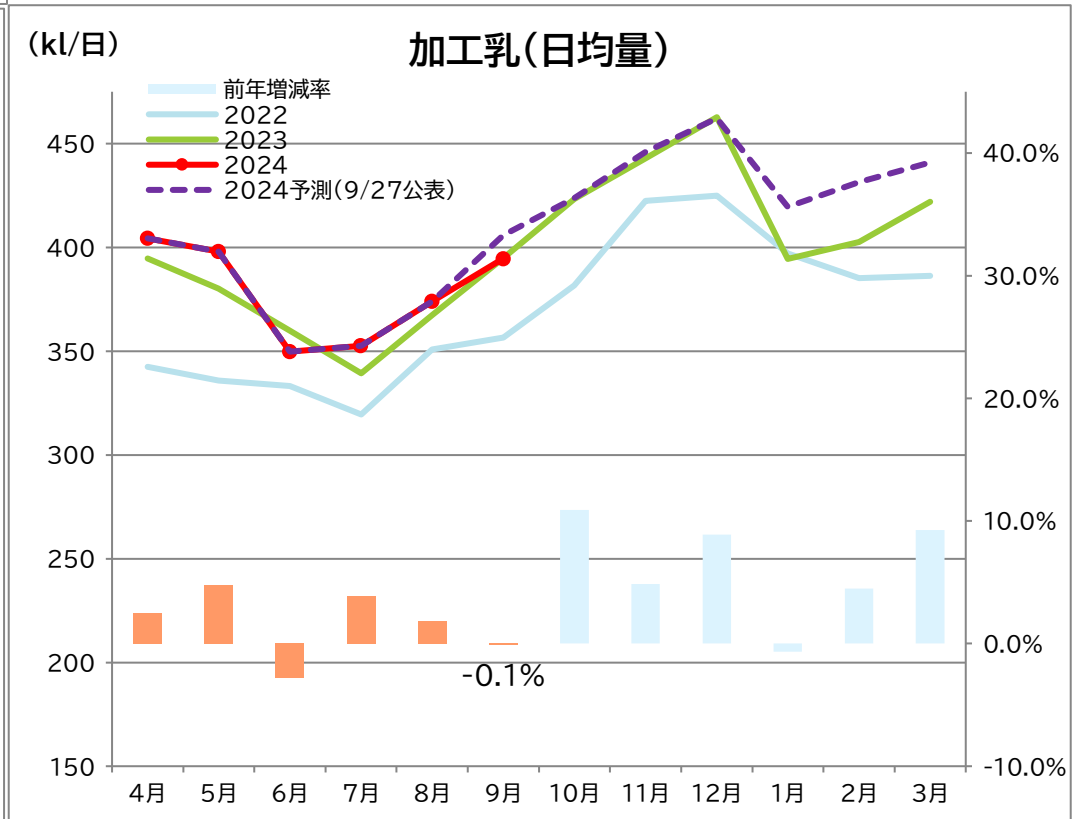
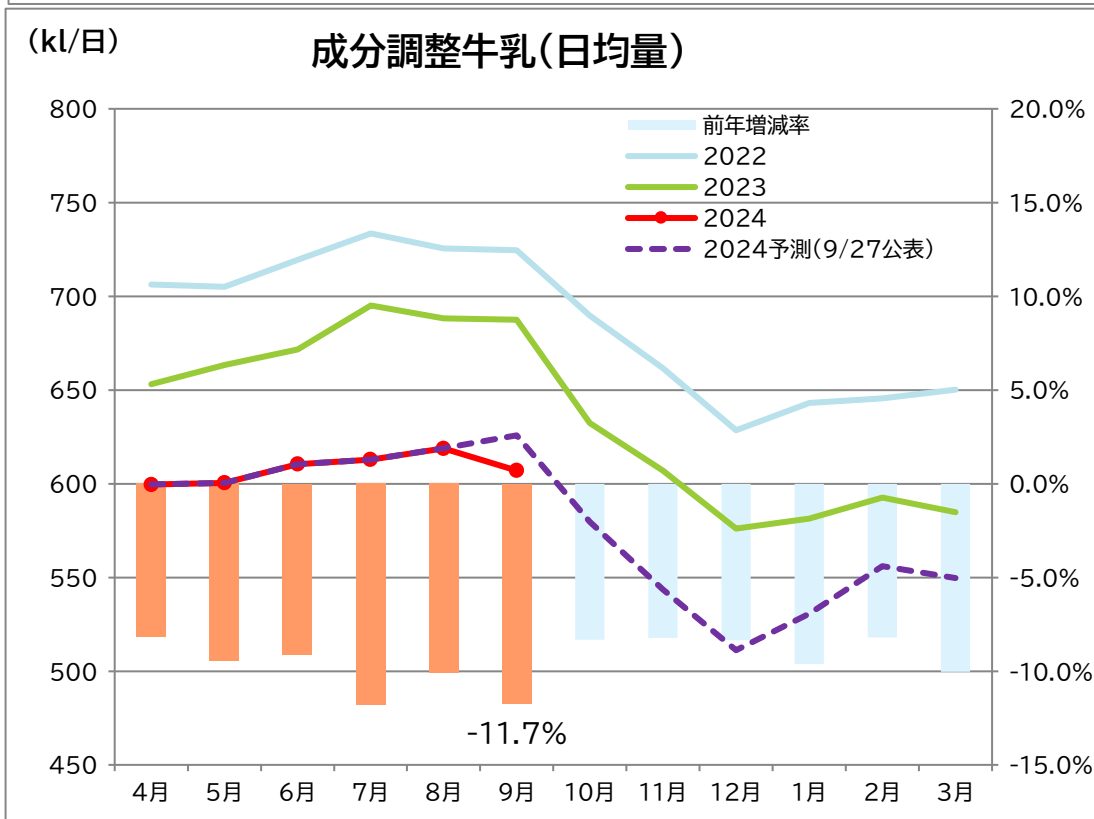
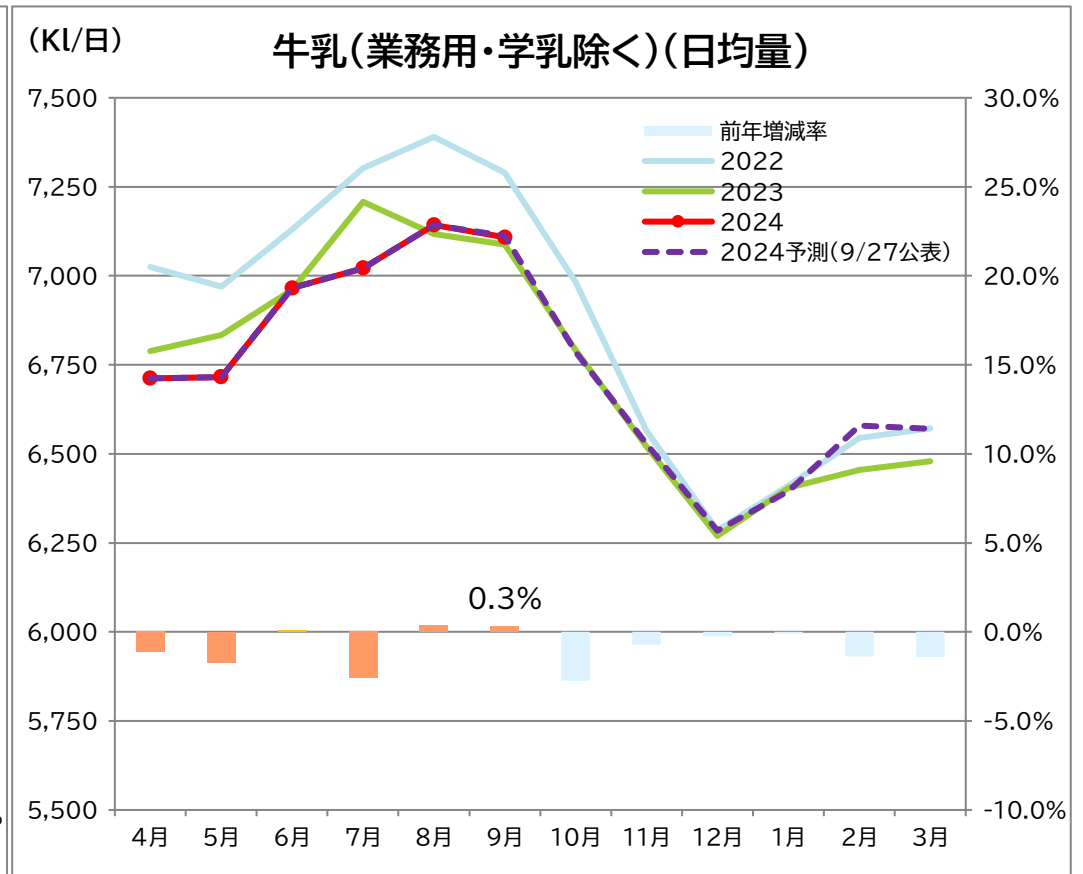
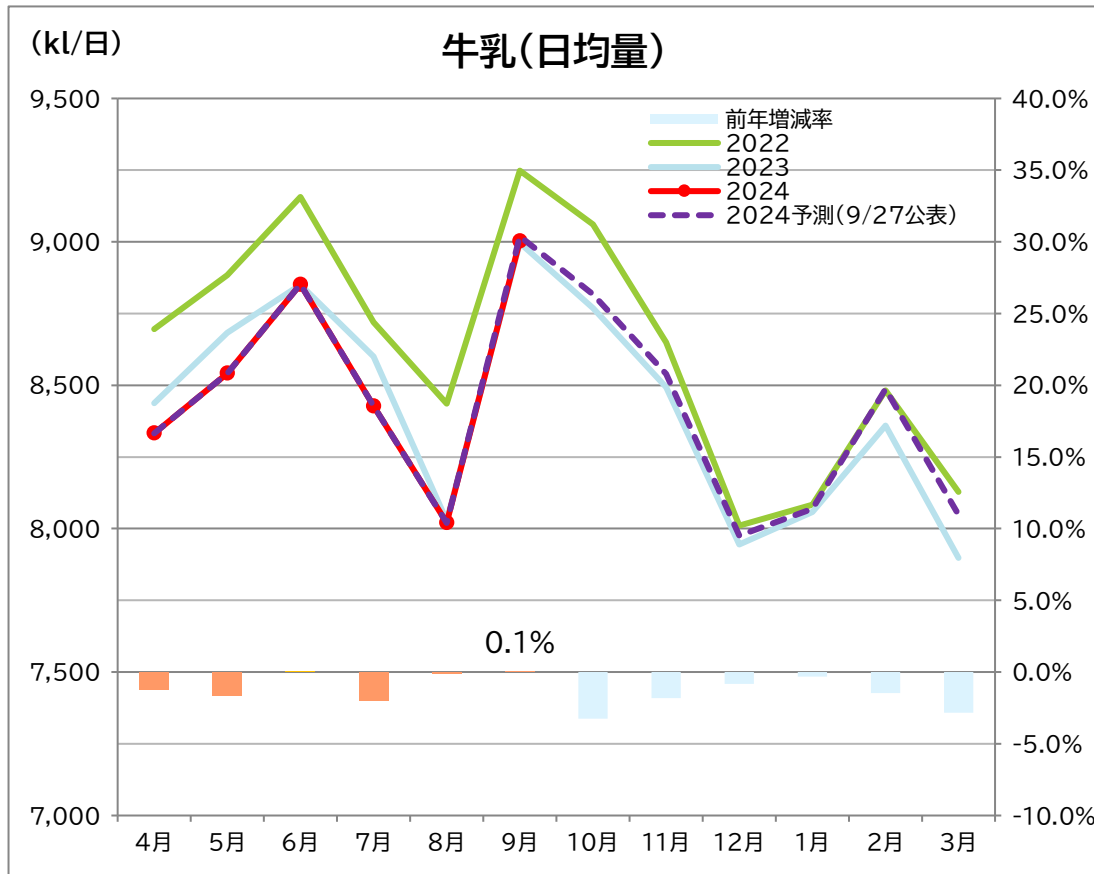


【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)9月の牛乳等生産量は、牛乳270.1千kl(前年同月比100.1%)、成分調整牛乳18.2千kl(同88.3%)、加工乳11.8千kl(同99.9%)、乳飲料90.7千kl(同94.6%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では、390.8千kl(同98.1%)となり、22カ月連続で前年を下回った。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同100.3%、「業務用」は同104.1%、「学乳」は96.1%。

(3)はっ酵乳(乳業)は85.9千kl(同101.3%)と3カ月連続で前年を上回った。はっ酵乳(非乳業:8月実績)は102.6%となった。

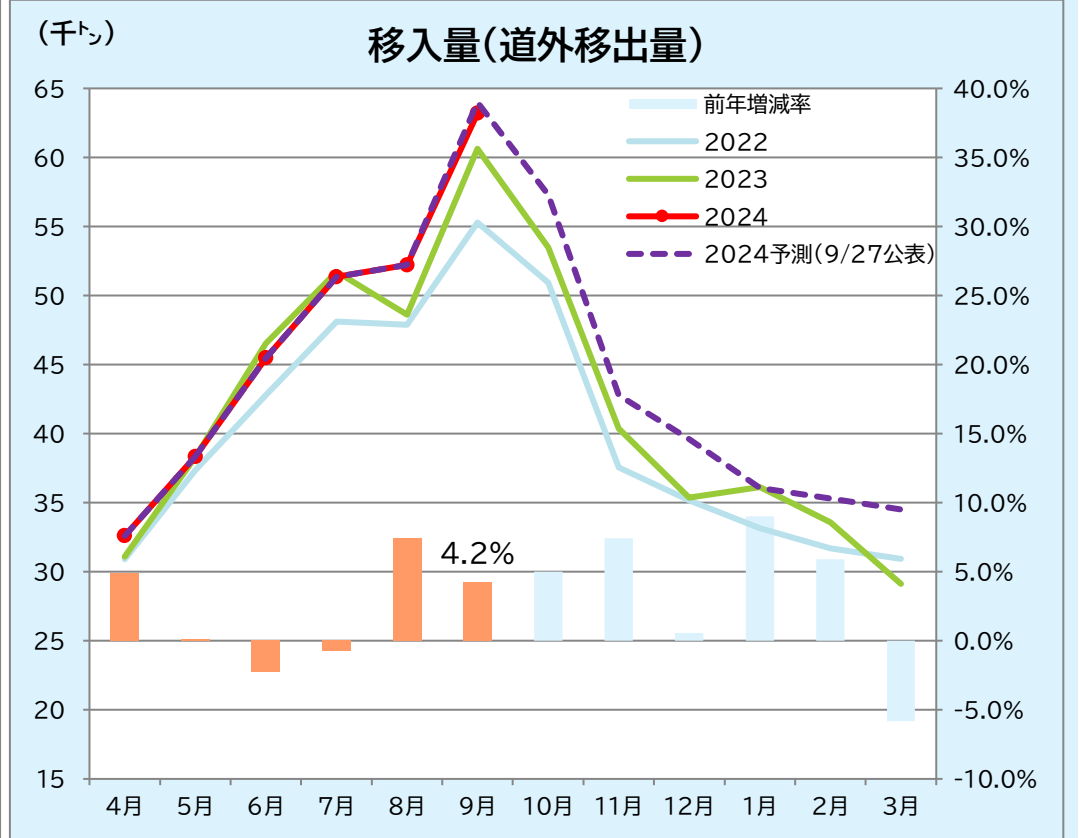
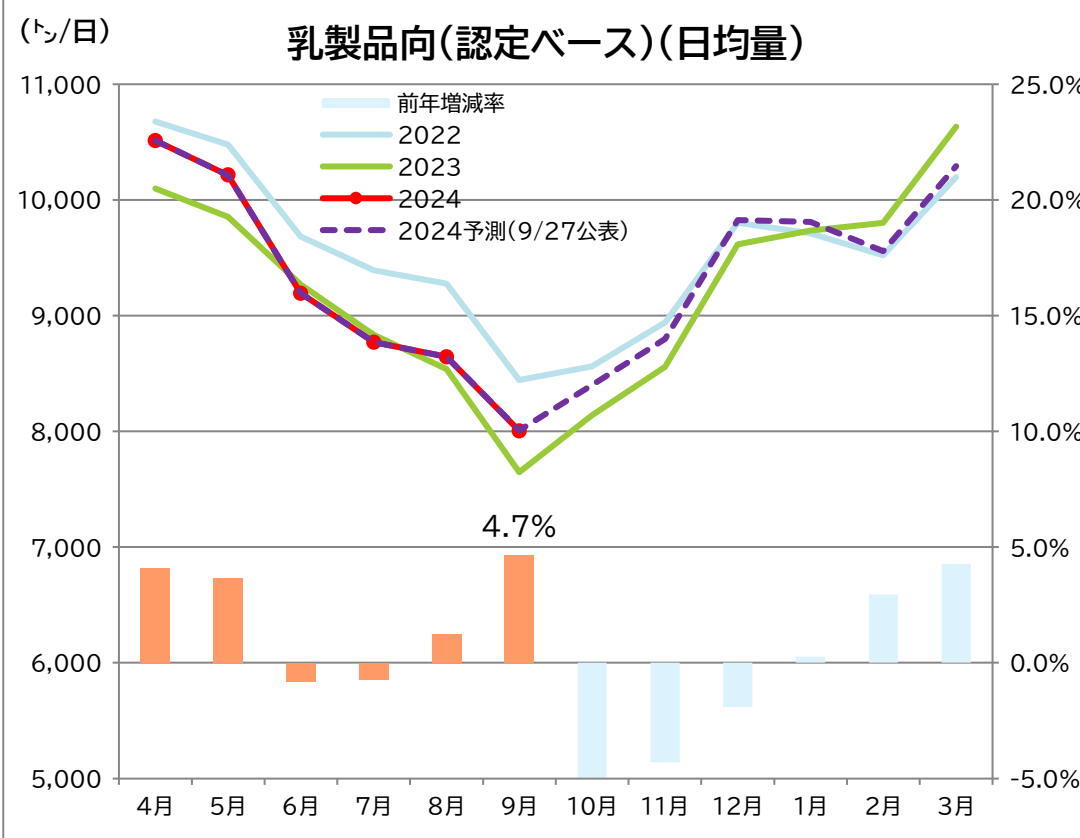
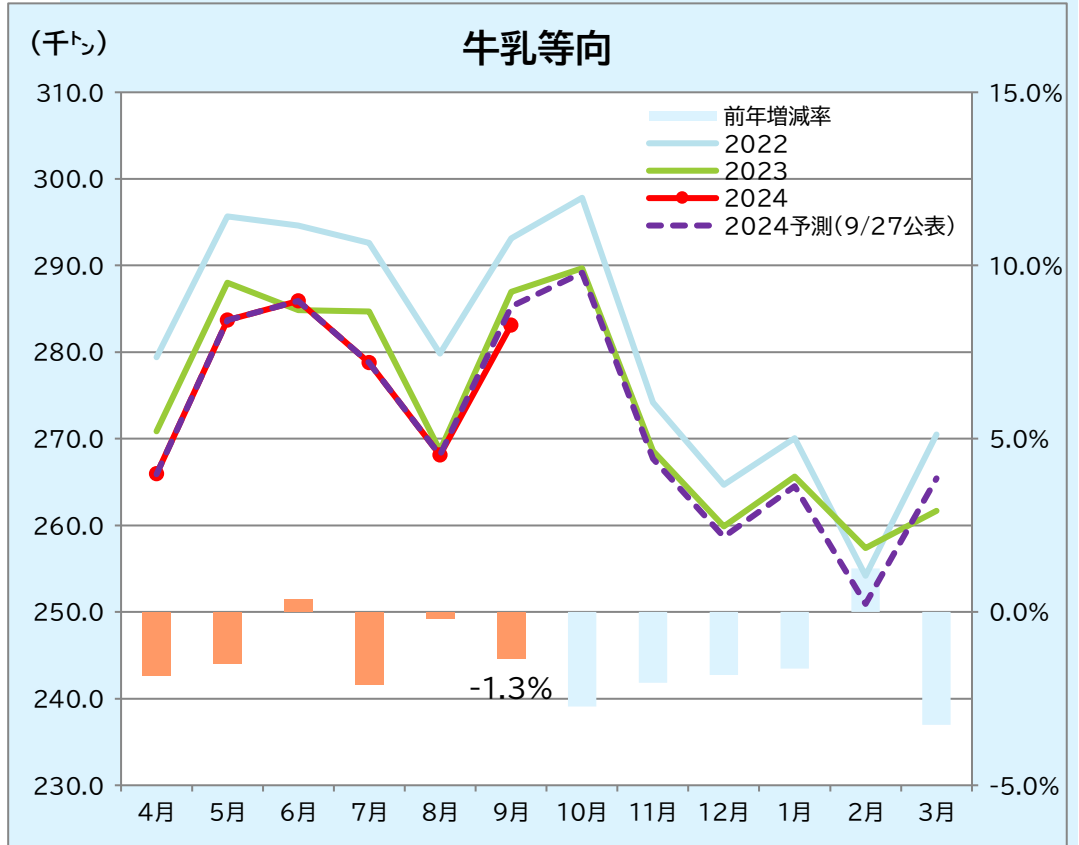
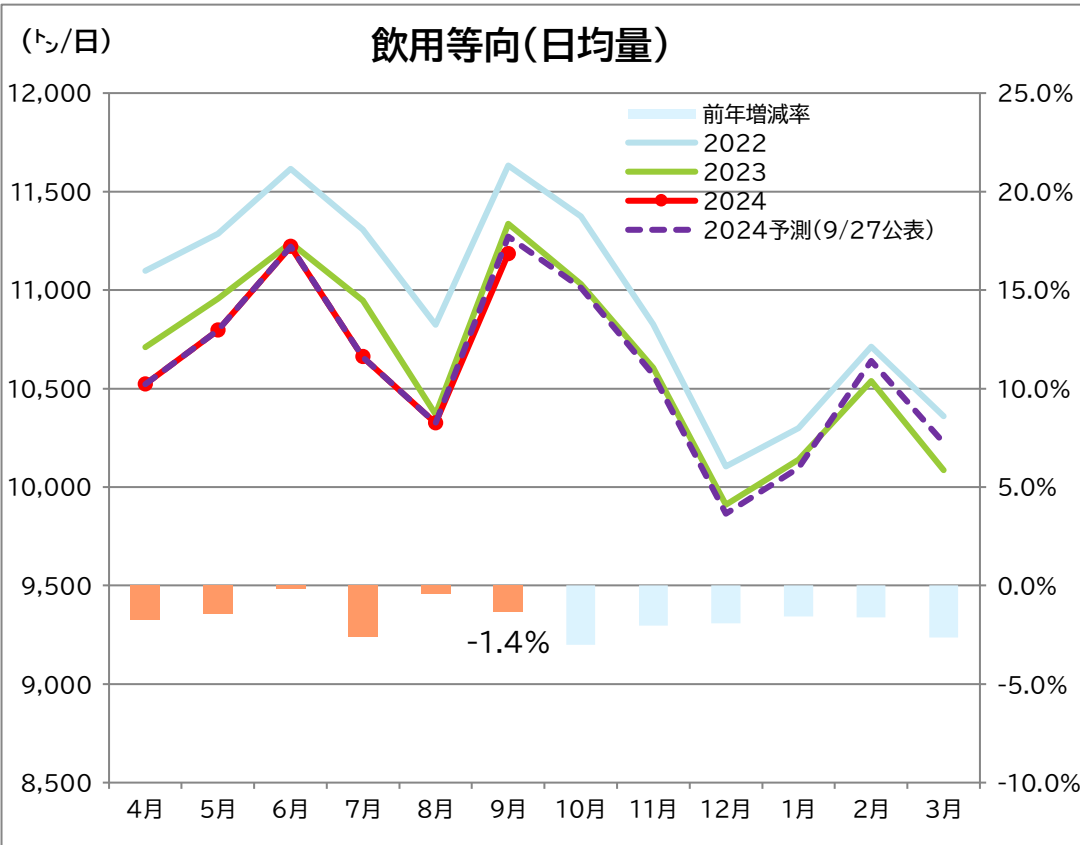
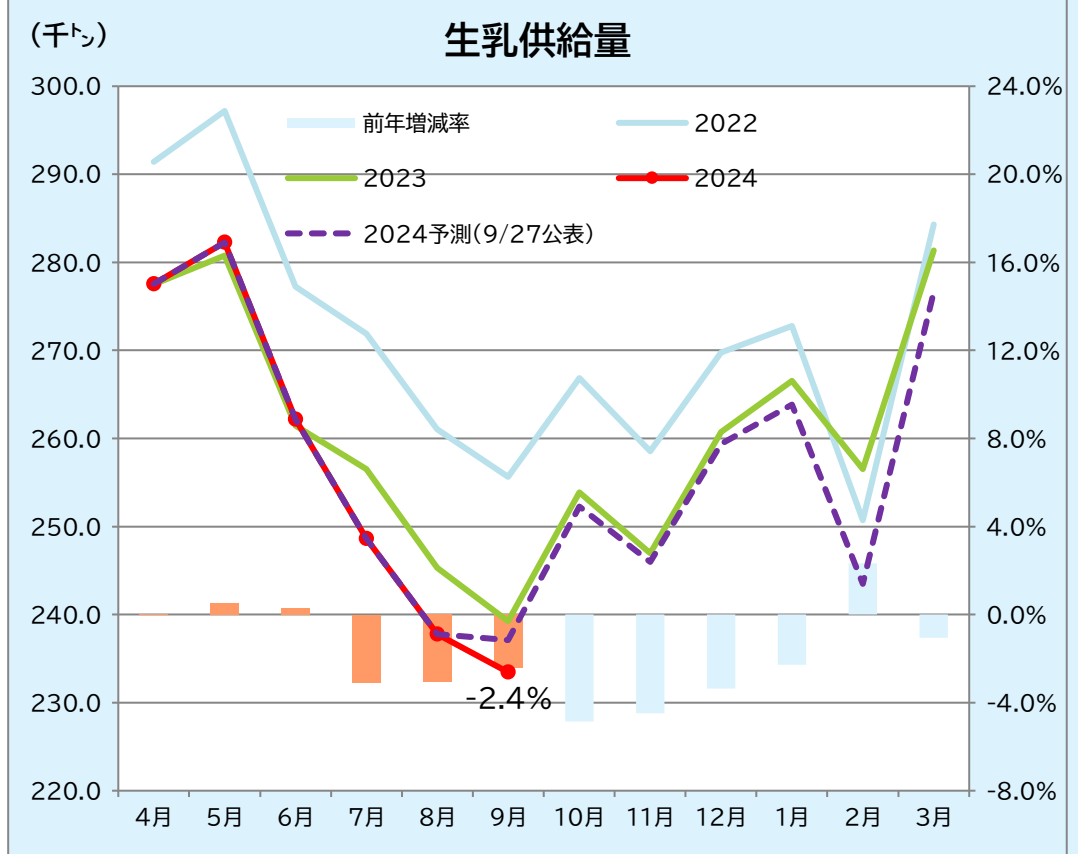
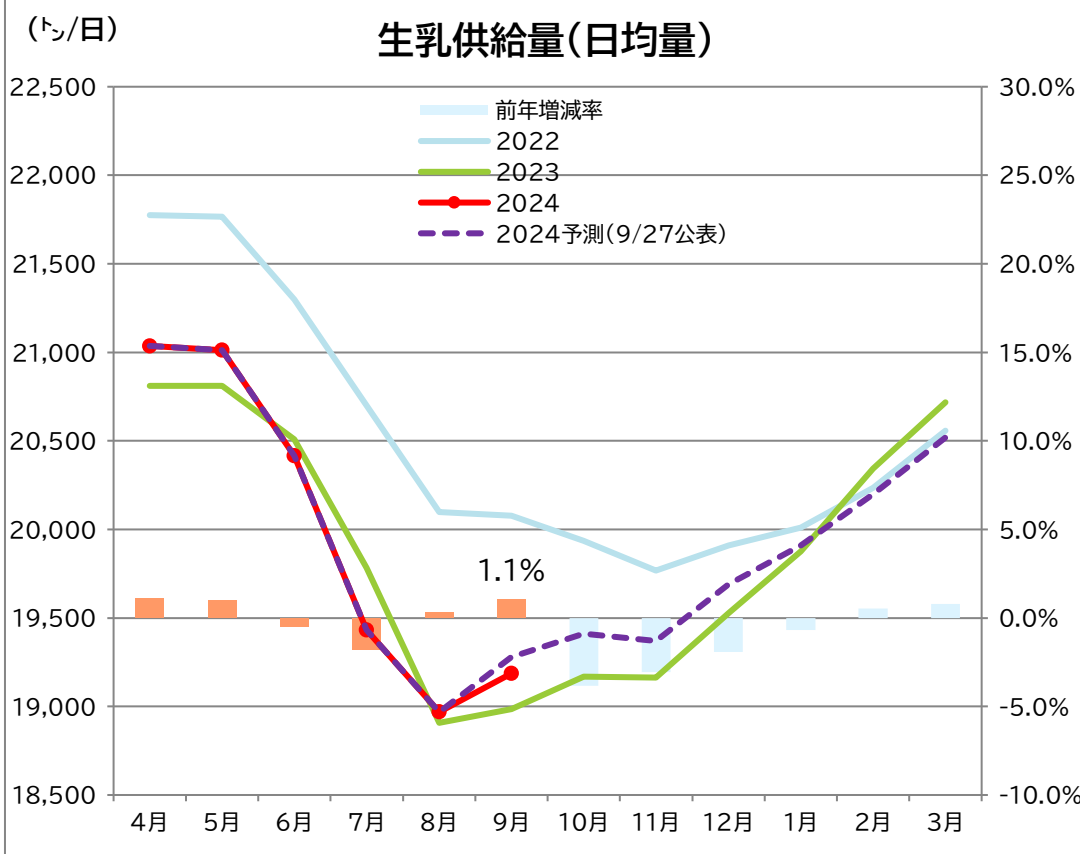


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)9月の生乳供給量は575.6千ト(前年同月比101.1%)、飲用等向335.5千ト(同98.6%)、乳製品向(認定ベース)240.1千ト(同104.7%)。  
 (2)飲用等向が前年を下回った一方、生乳供給量は前年を上回り、結果として乳製品向も前年を上回った。  
 (3)9月に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:578.4千ト)は下振れ、飲用等向(予測値:338.1千ト)は下振れし、乳製品向(予測値:240.3千ト)はほぼ予測通りとなった。

【都府県の生乳需給】

(1)9月は、生乳供給量233.4千ト(前年同月比97.6%)、牛乳等向283.1千ト(同98.7%)。  
 (2)北海道からの移入量については63.2千ト(同104.2%)と前年を上回った。  
 (3)9月に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:237.1千ト)は下振れ、牛乳等向(予測値:285.3千ト)も下振れ、移入量(予測値:64.0千ト)も下振れした。





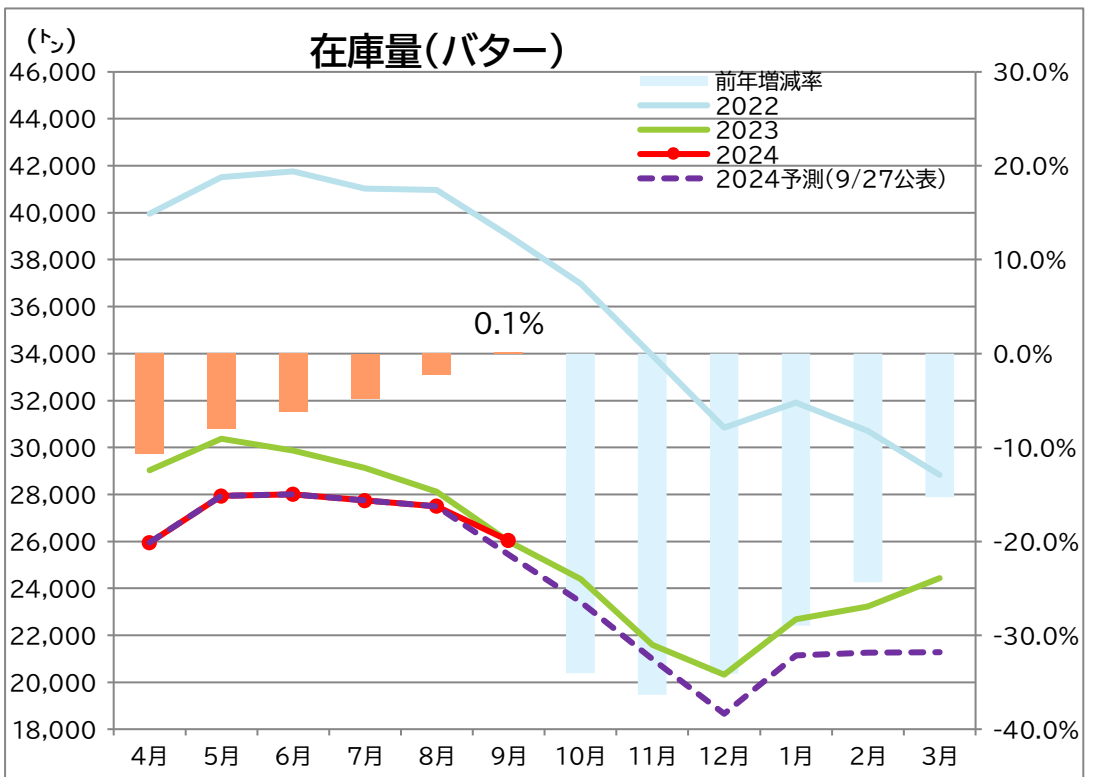
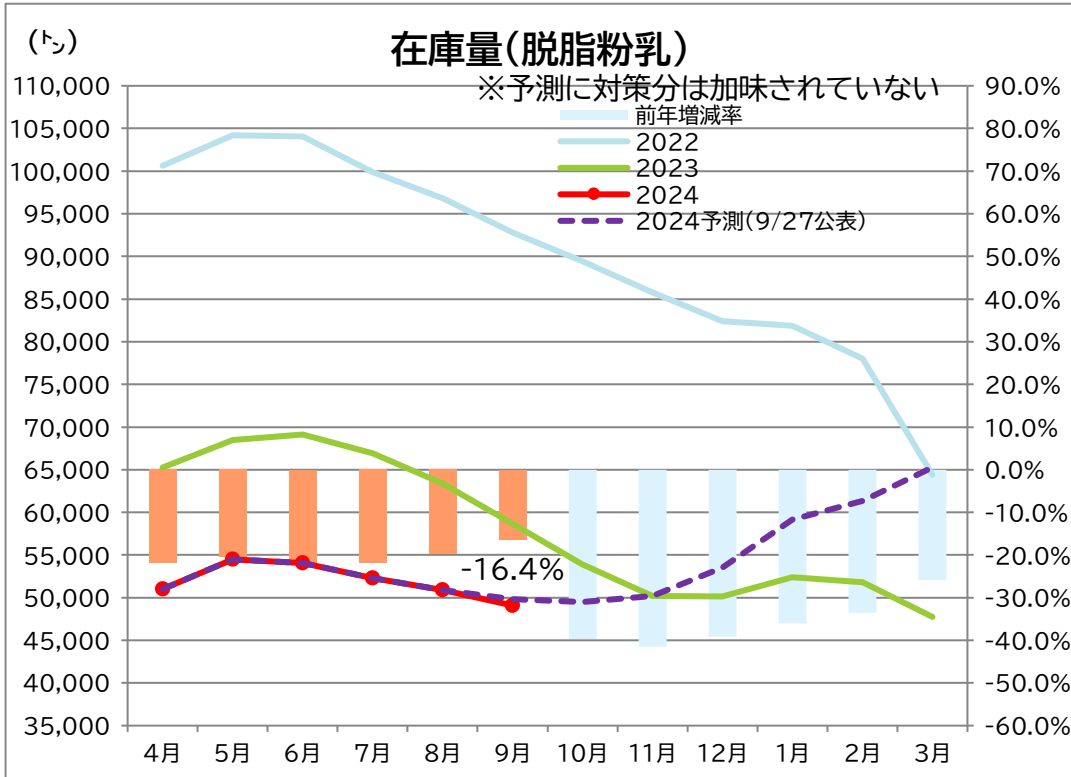
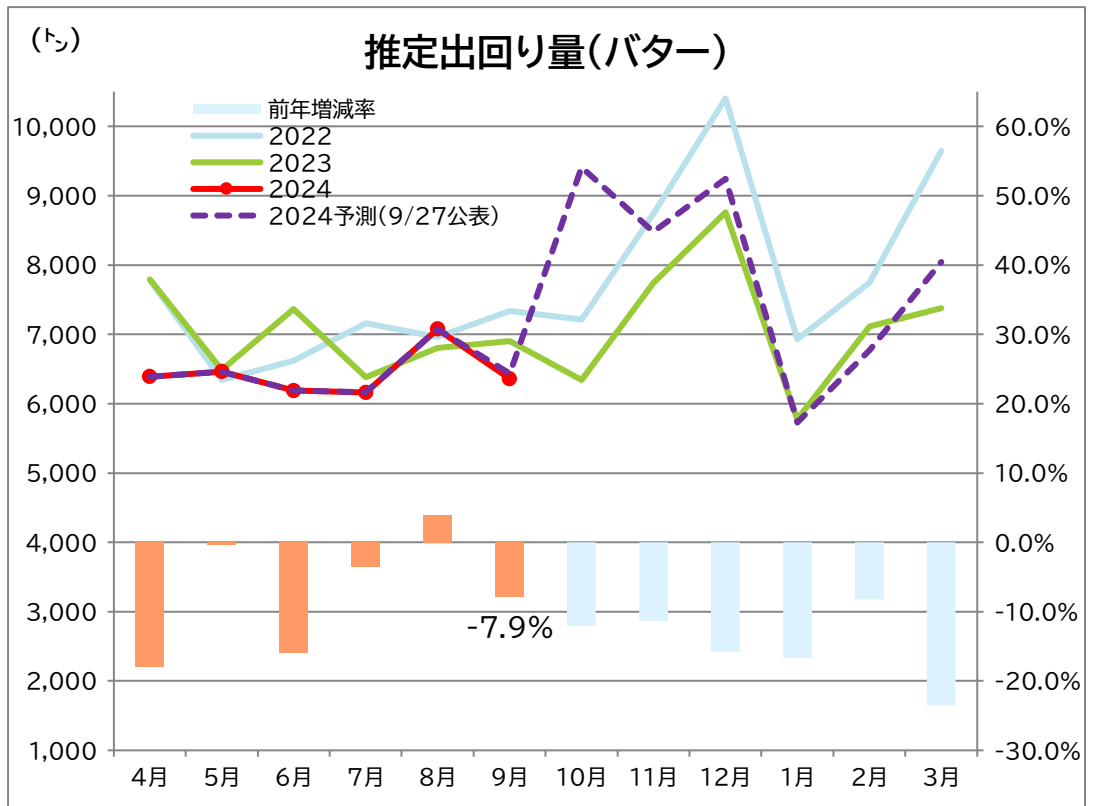
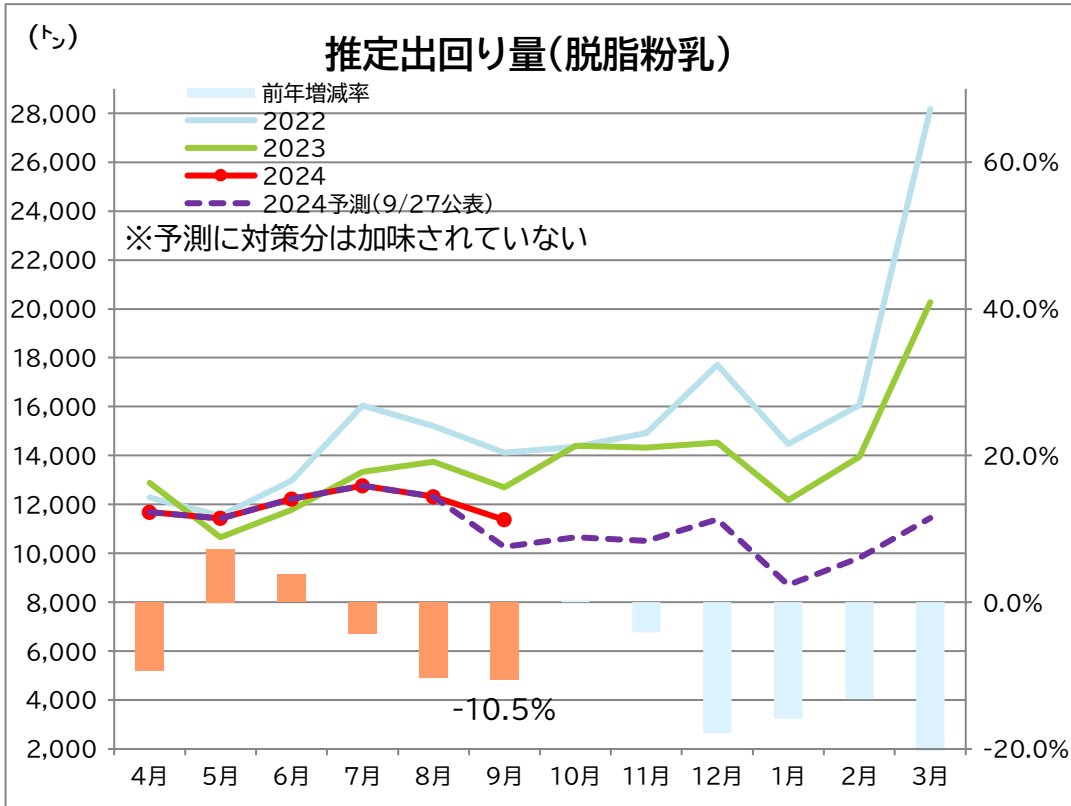
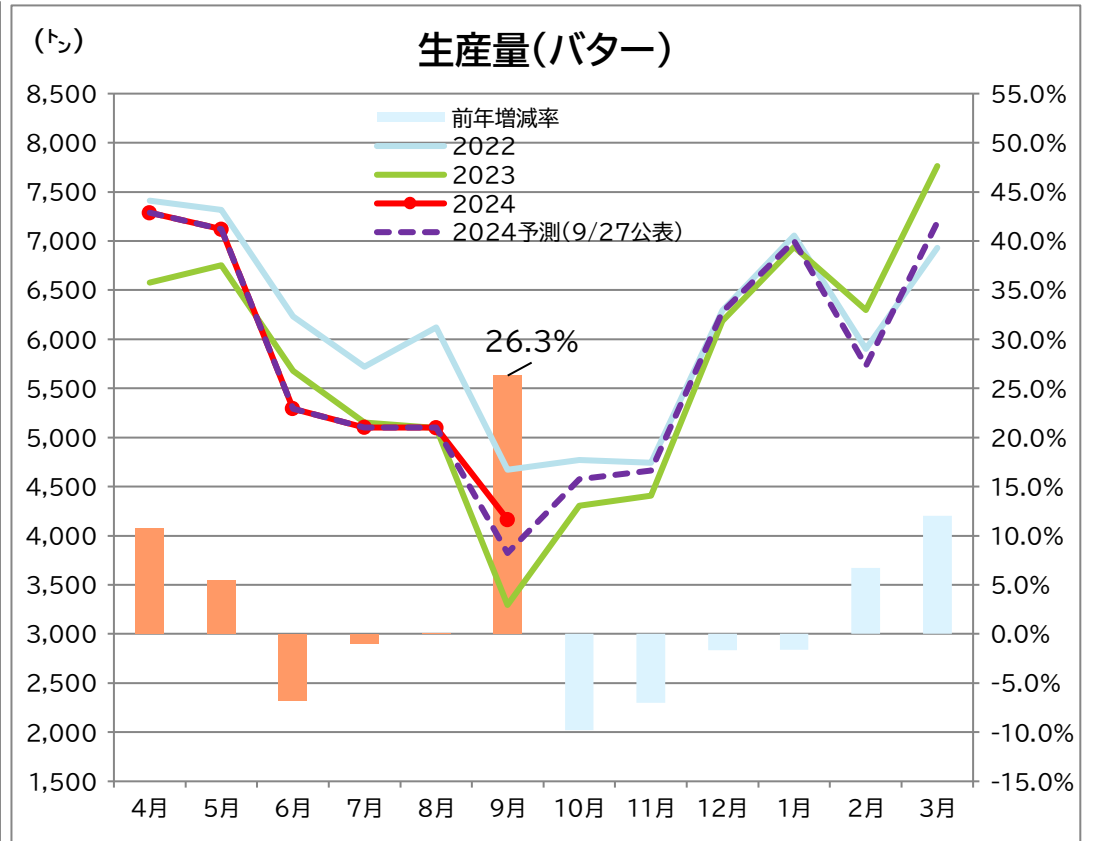
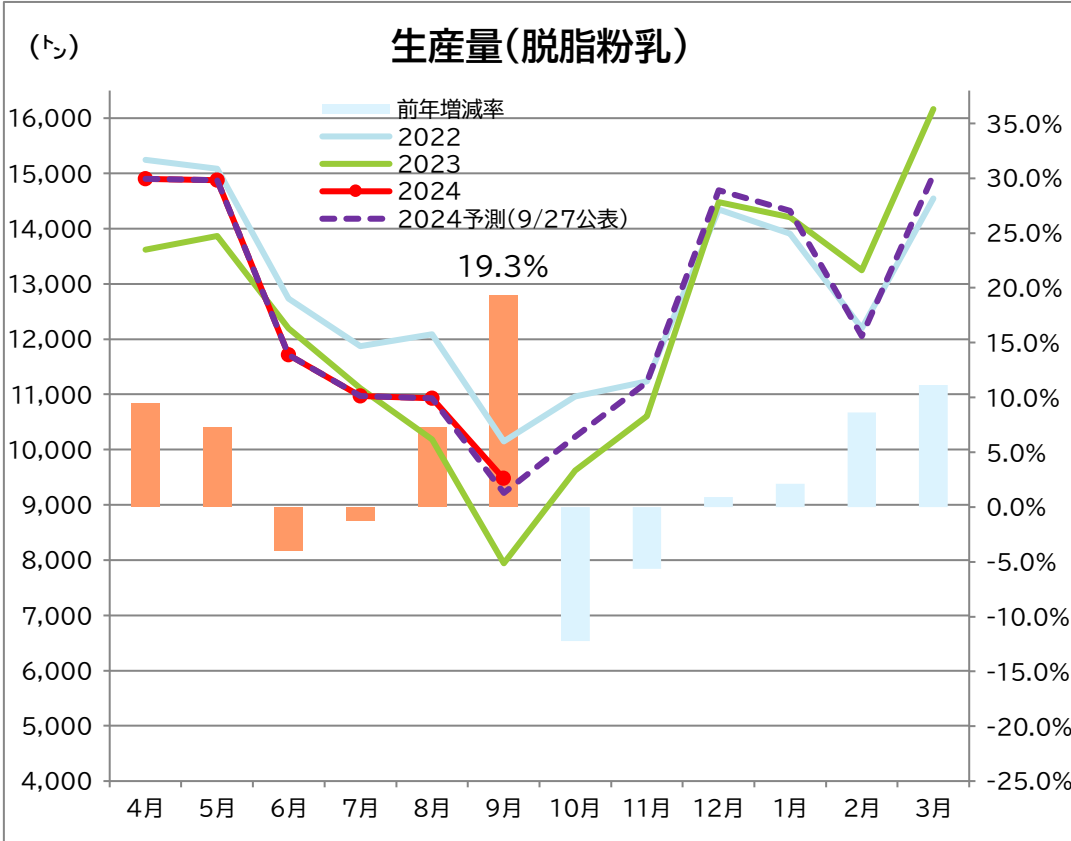
## 【脱脂粉乳・バターの需給】

(1)脱脂粉乳について、9月の生産量は9.5千ト(前年同月119.3%)、推定出回り量は11.4千ト(同89.5%)となった。出回り量が生産量を上回ったため、在庫量は前月から1.8千ト程度減少し、49.1千ト(同83.6%)となった。在庫量は生産抑制の効果による脱バ仕向量の減少や在庫対策削減効果により、2023年9月には2018年11月以来、約5年振りに5万ト台となり、2024年3月には約8年振りに4万ト台となっていた。その後、4月に再び5万ト台となったが、9月に5か月ぶりに4万ト台に戻った。

※なお、推定出回り量の実績には在庫対策による国産脱脂粉乳への置換分を含む。

(2)バターについて、9月の生産量は4.2千ト(同126.3%)、推定出回り量は6.4千ト(同92.1%)となった。バターの生産量が前年同期比を上回るのは2カ月連続。国家貿易による輸入売渡分(約0.7千ト)も考慮すると在庫量は前月から約1.5千ト減少し26.0千ト(同100.1%)となった。在庫量は29カ月ぶりに前年超え。

➡脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、飲用需要が低調に推移している。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図るとともに、全国協調の在庫削減対策による国産脱脂粉乳の国内需要拡大や輸出など、引き続き最大限取り進める必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)10月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比100.3%、成分調整牛乳:同95.4%、加工乳:同97.7%、乳飲料:同91.8%。牛乳類全体:同98.6%

【参考】2022年10月比…牛乳:95.4%、成分調整牛乳:77.0%、加工乳:102.9%、乳飲料:97.4%(牛乳類トータル:94.4%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(10/28週)の販売個数は、牛乳:前年同期比98.0%、成分調整牛乳:同95.6%、加工乳:同98.5%、乳飲料:同88.7%。牛乳類トータルでは同96.3%

出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

※2024年6月のみ、販売データの対象となる業態についてホームセンターのうちディスカウント型店舗が対象外となっております。

販売本数の前年比は、過去のデータも同じ業態にそろえて比較しております。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

単位:千個、円

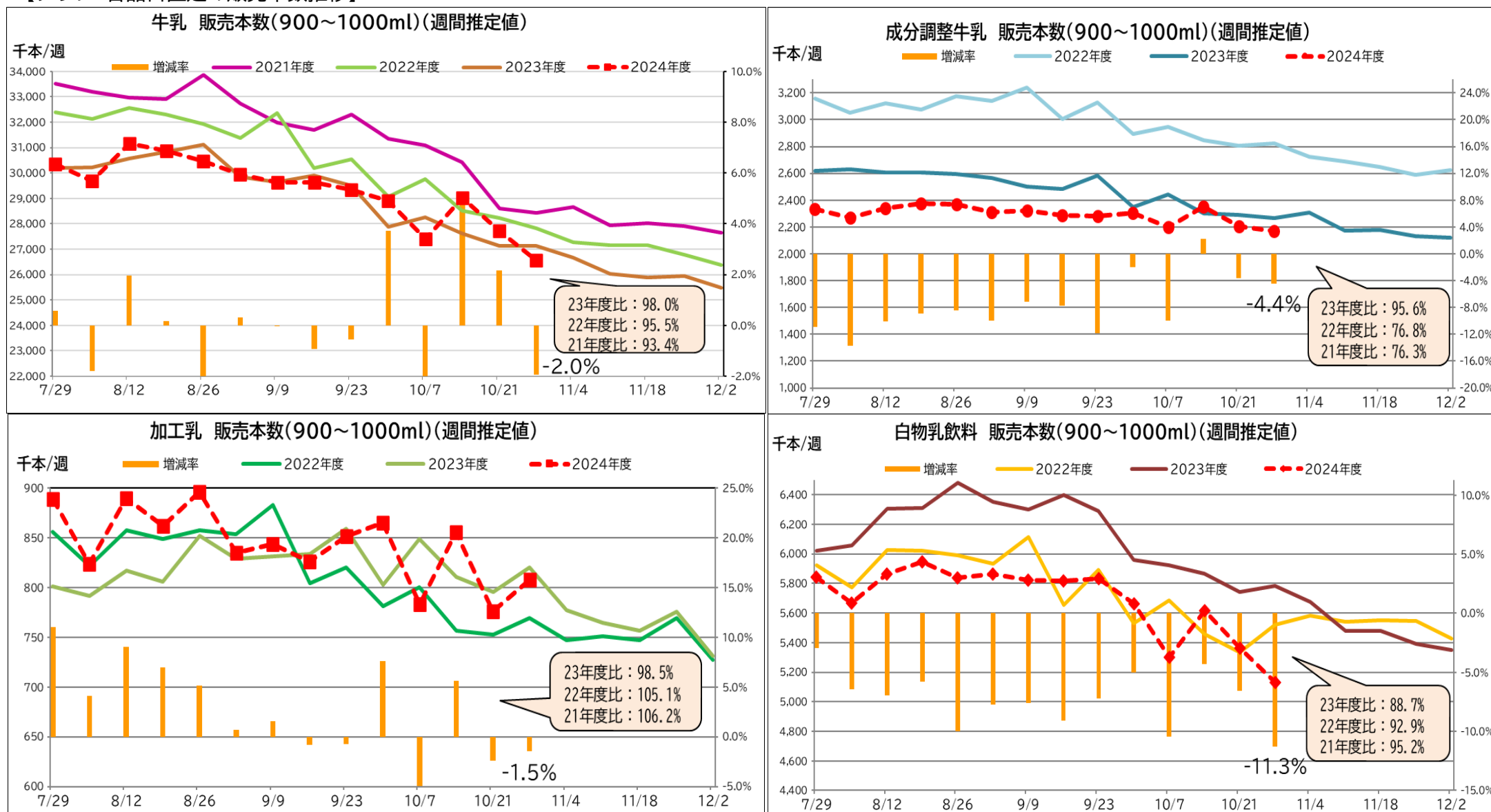
品目	区分	2024/5-	2024/6-	2024/7-	2024/8-	2024/9-	2024/10-	2024/10- 2022/10価格差	2024/10- 2023/3価格差	2024/10- 2023/7価格差	
		販売個数	販売個数前年比	販売単価	販売個数	販売個数前年比	販売単価				販売個数
トータル	販売個数	158,129	162,342	168,873	175,296	165,980	161,140	32.9	17.8	16.0	
	販売個数前年比	96.4	101.1	95.3	99.1	97.6	98.6				
	販売単価	215.8	215.6	216.0	216.8	216.1	216.0				
牛乳	販売個数	120,893	124,376	129,480	135,341	127,378	123,650	34.9	18.6	17.8	
	販売個数前年比	96.4	101.0	95.4	100.7	99.3	100.3				
	販売単価	224.9	224.6	225.1	225.6	225.2	225.1				
成分調整牛乳	販売個数	9,425	9,694	10,098	10,338	9,883	9,938	33.1	17.4	13.9	
	販売個数前年比	84.3	88.2	84.3	89.9	90.6	95.4				
	販売単価	208.0	207.7	207.7	208.5	207.8	206.6				
加工乳	販売個数	3,624	3,616	3,823	3,831	3,646	3,568	27.9	18.2	7.2	
	販売個数前年比	112.3	116.4	109.2	107.8	101.5	97.7				
	販売単価	216.6	218.3	217.7	220.5	219.8	218.0				
乳飲料	販売個数	24,188	24,655	25,472	25,786	25,073	23,984	23.5	12.9	9.2	
	販売個数前年比	99.6	105.5	97.7	94.0	92.0	91.8				
	販売単価	173.3	173.1	173.1	173.3	172.8	173.0				

速報値

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	9.9-	9.16-	9.23-	9.30-	10.7-	10.14-	10.21-	10.28-	24.10.28- 22.10.24 価格差	24.10.28- 23.3.20 価格差	24.10.28- 23.7.24 価格差
		販売個数	販売個数前年比	販売単価	販売個数	販売個数前年比	販売単価	販売個数	販売個数前年比	販売単価	販売個数	販売個数前年比
トータル	販売個数	38,625	38,571	38,310	37,746	35,692	37,830	36,063	34,673	32.9	18.0	15.6
	販売個数前年比	98.4	97.3	97.6	102.1	95.2	103.4	100.3	96.3			
	販売単価	216.4	216.3	216.2	215.7	216.3	215.7	216.1	216.1			
牛乳	販売個数	29,636	29,636	29,344	28,918	27,409	29,011	27,716	26,565	35.0	18.7	17.5
	販売個数前年比	100.0	99.1	99.5	103.7	97.0	105.0	102.1	98.0			
	販売単価	225.6	225.3	225.3	224.9	225.3	224.8	225.1	225.3			
成分調整牛乳	販売個数	2,321	2,290	2,280	2,302	2,200	2,349	2,207	2,168	32.3	17.4	12.8
	販売個数前年比	92.8	92.2	88.2	98.0	90.0	102.2	96.3	95.6			
	販売単価	207.7	207.6	207.6	206.3	206.8	205.8	207.0	206.0			
加工乳	販売個数	844	826	852	865	783	856	776	808	22.9	12.6	2.0
	販売個数前年比	101.6	99.1	99.1	107.6	92.2	105.6	97.6	98.5			
	販売単価	218.7	221.2	219.8	217.0	218.9	217.0	219.7	213.8			
乳飲料	販売個数	5,824	5,818	5,834	5,661	5,301	5,614	5,363	5,132	23.0	13.2	8.5
	販売個数前年比	92.4	90.9	92.8	95.0	89.5	95.7	93.4	88.7			
	販売単価	172.6	172.9	172.8	172.7	173.8	172.6	173.2	172.7			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表⑤参照)

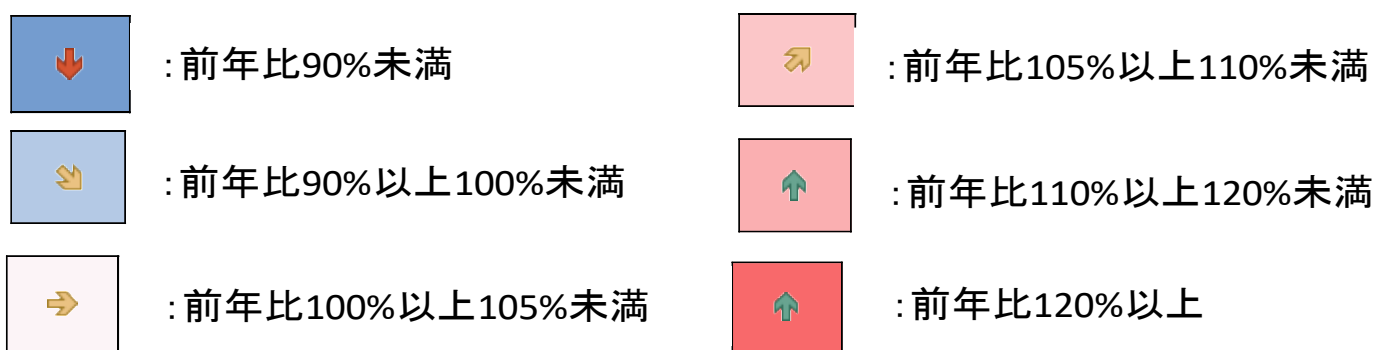
直近(10/28週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同105%以上。はっ酵乳全体としては、前年を下回る推移となっている。(3品目合計前年同期比90%以上)。

(2)販売個数について、前週(10/21週)との比較では、3品目すべて減少した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表⑤ ヨーグルト類の販売動向】

品目	9.9-	9.16-	9.23-	9.30-	10.7-	10.14-	10.21-	10.28-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	→	↘	→	→	↘
大容量タイプ	↗	→	→	↑	→	↑	↗	↗



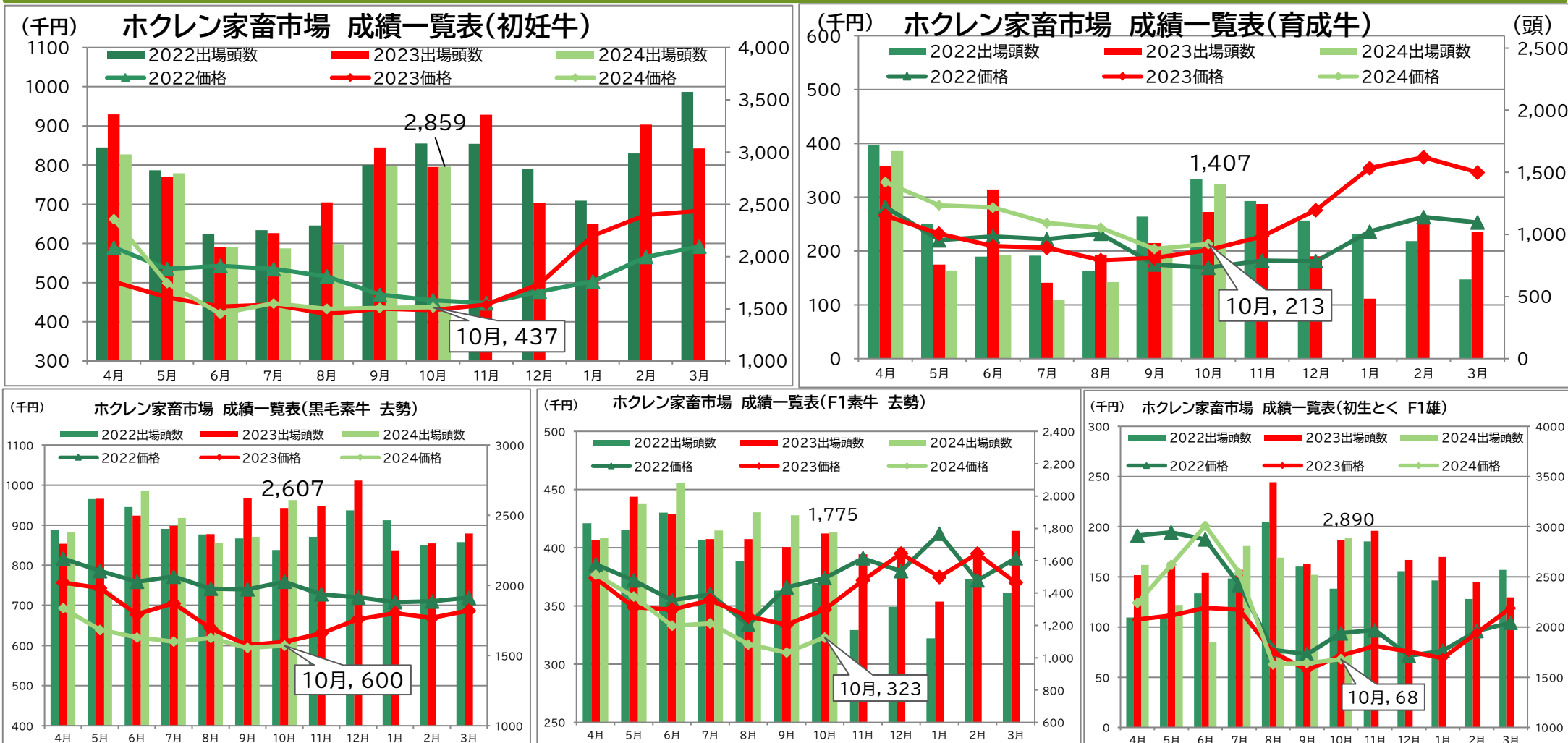
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)10月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は437千円(前年同期比101.6%)、育成牛価格は213千円(同105.4%)、和牛素牛(去勢)価格600千円(同98.5%)、F1素牛(去勢)価格は323千円(同93.1%)。初妊牛は6カ月連続で40万円台となり、育成牛についても6カ月連続で20万円台となった。ホル初生(雄)価格は14千円(同27.6%)と、3カ月連続で20千円を下回り前年同月比が20%台となった(グラフ無し)。

(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同100.1%、育成牛:同119.2%、F1初生(雄):同101.0%、和牛素牛(去勢):同102.2%、F1素牛(去勢):同100.3%。

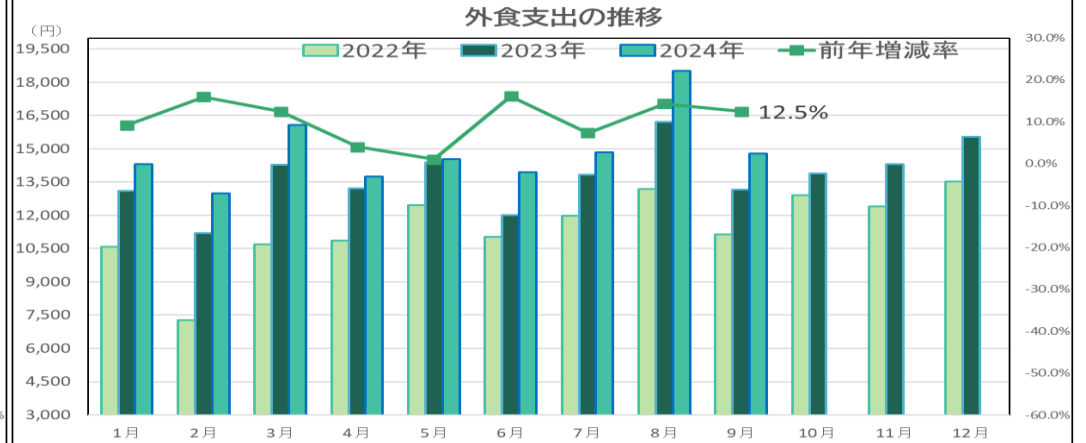
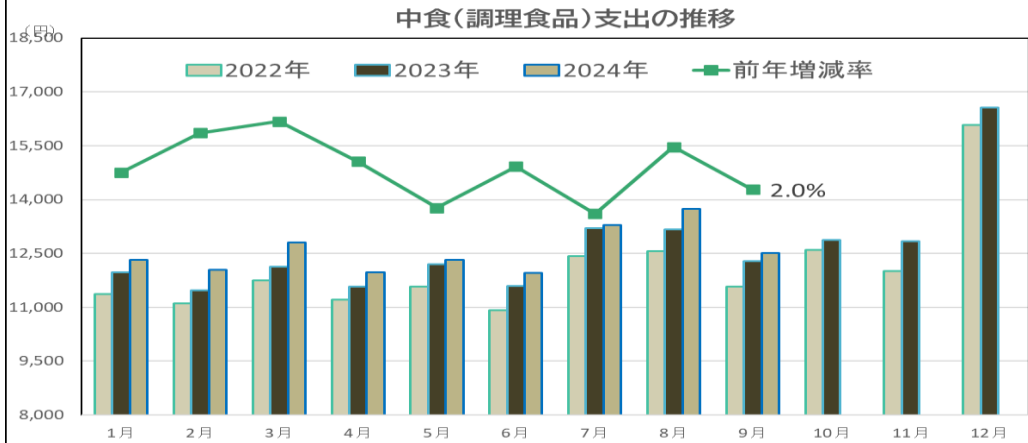
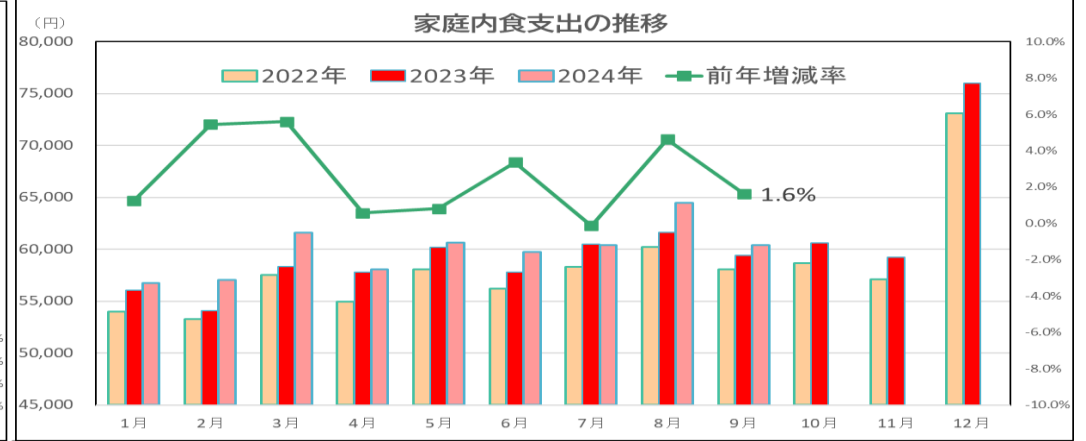
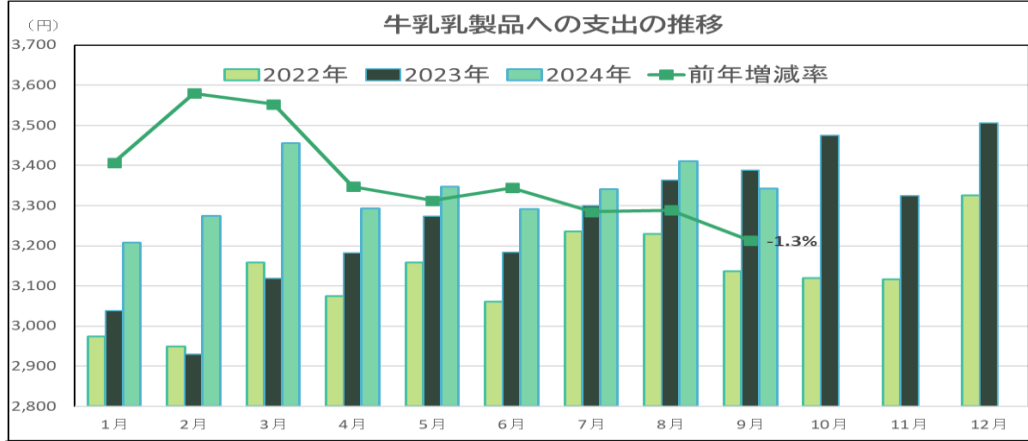
※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



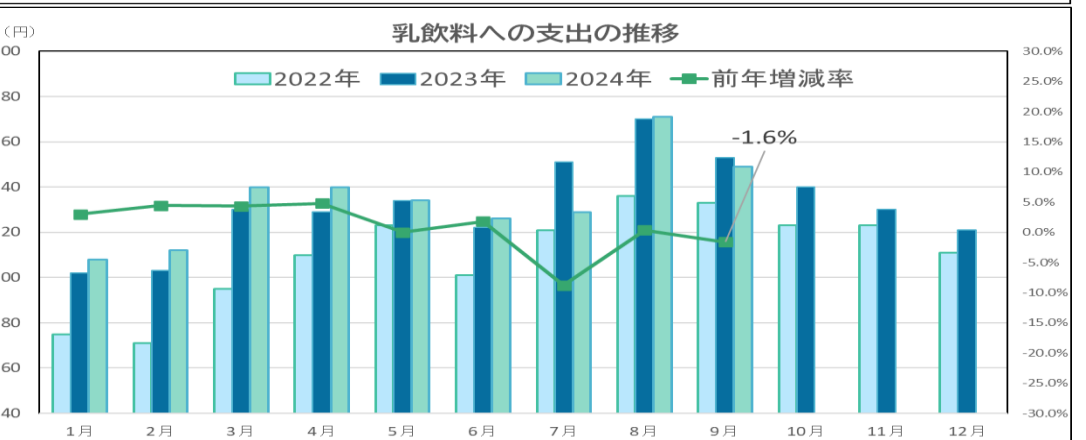
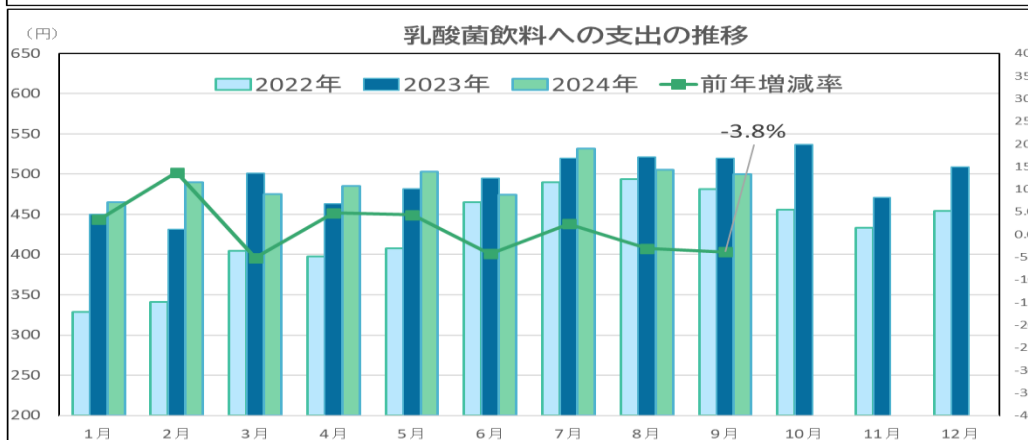
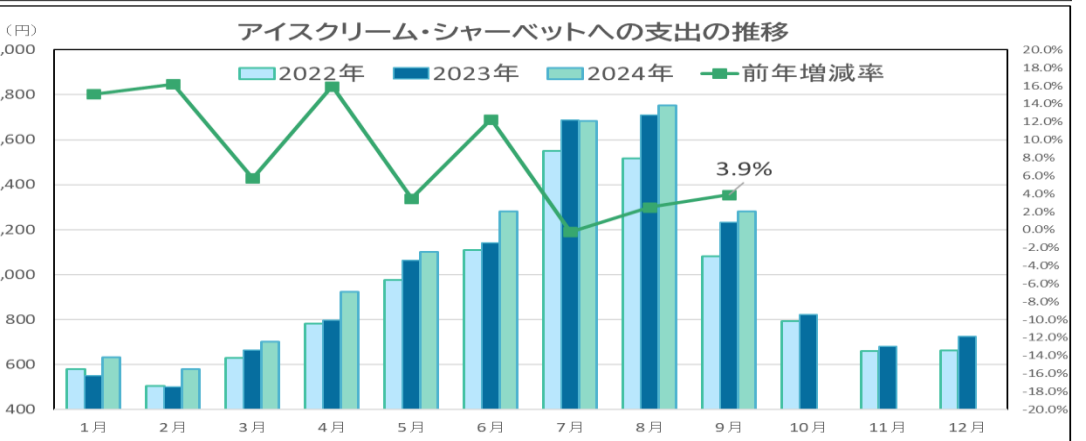
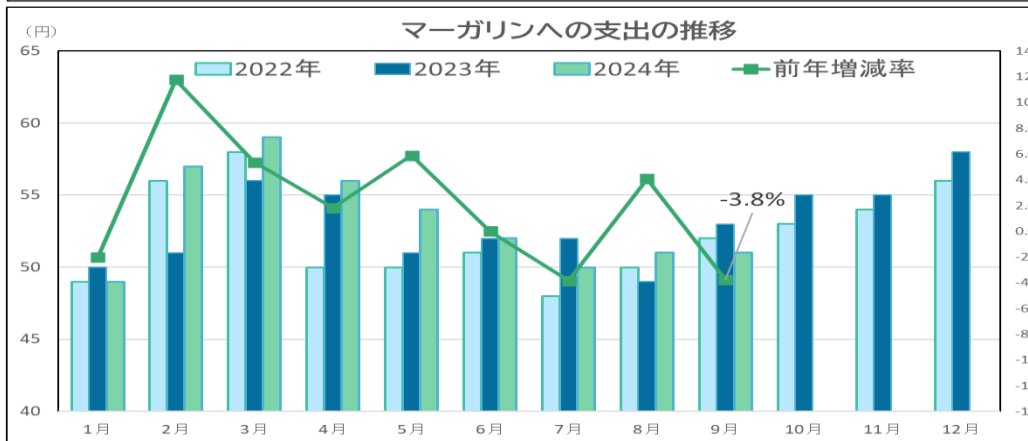
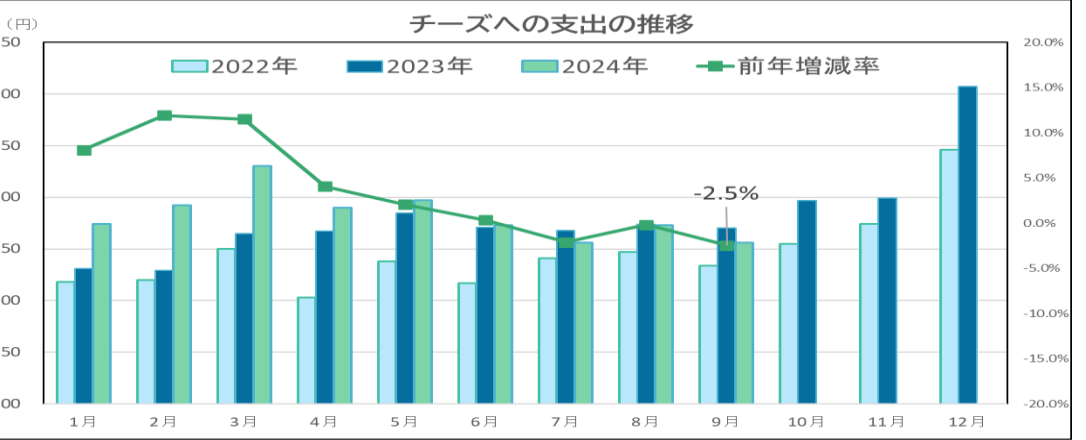
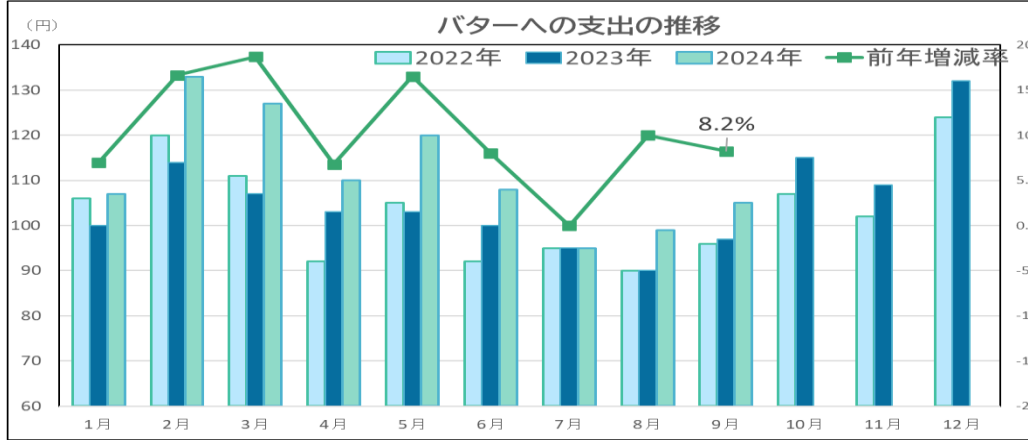
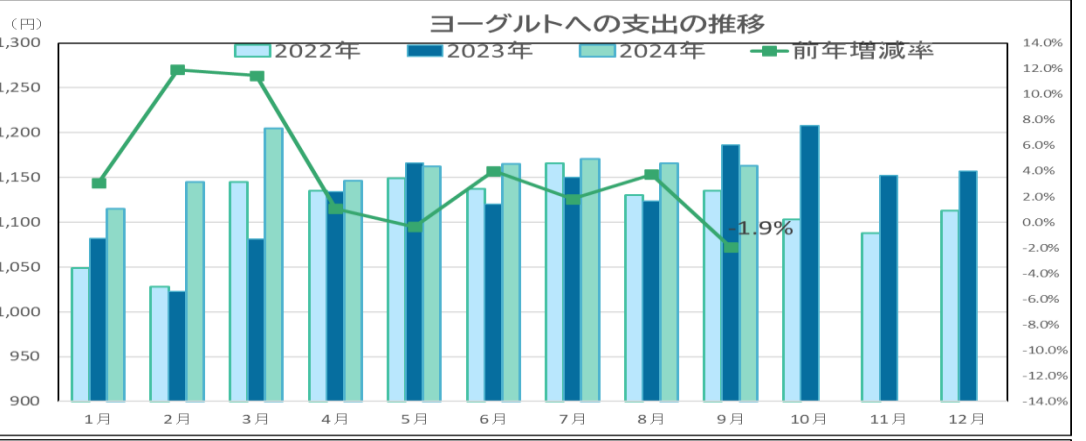
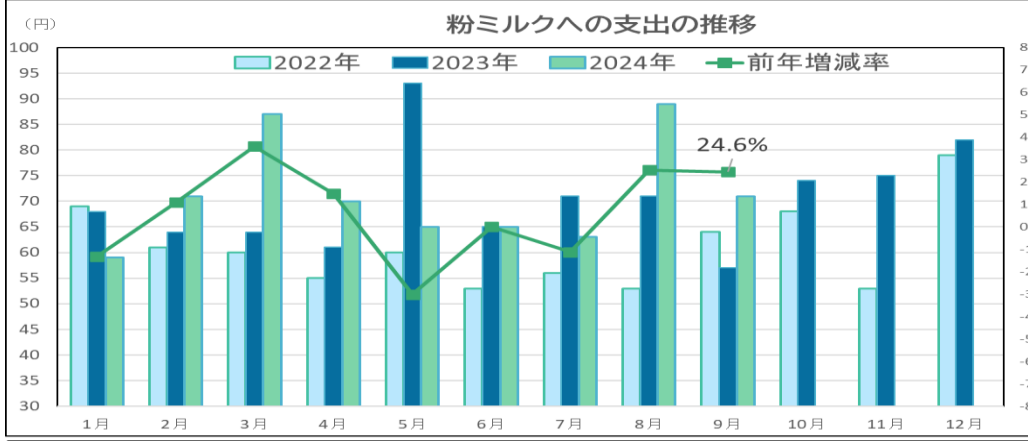


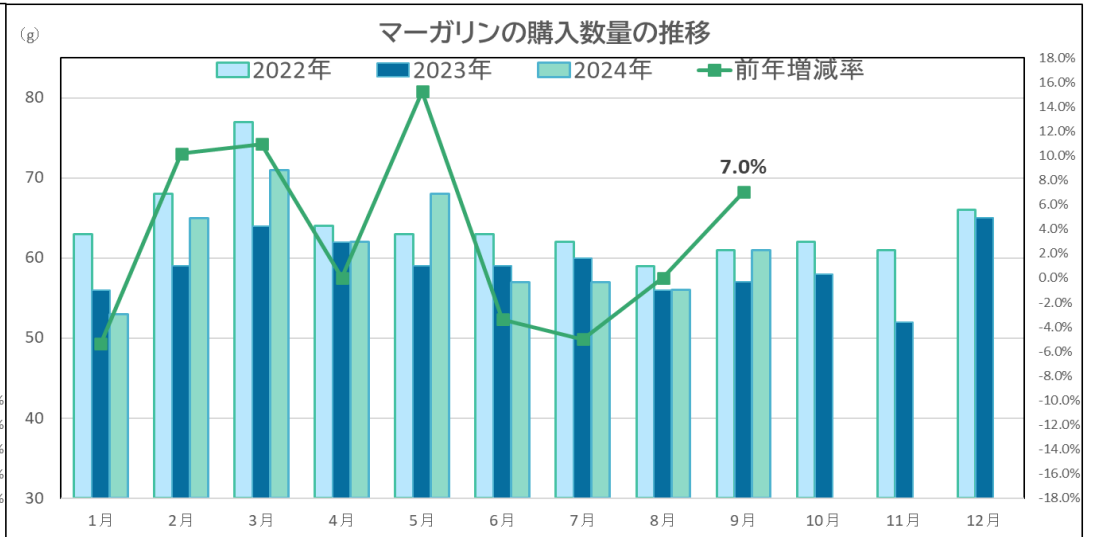
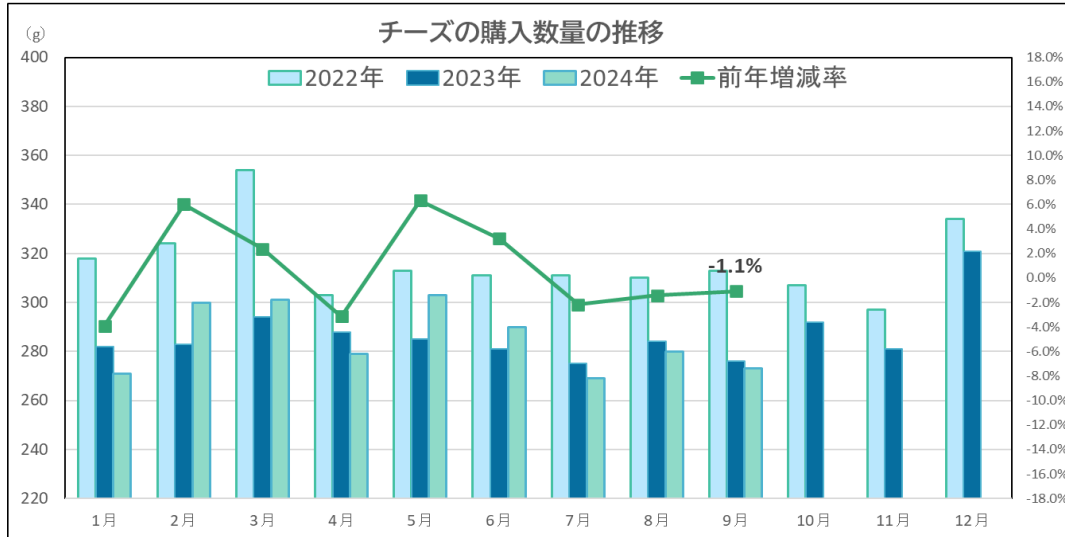
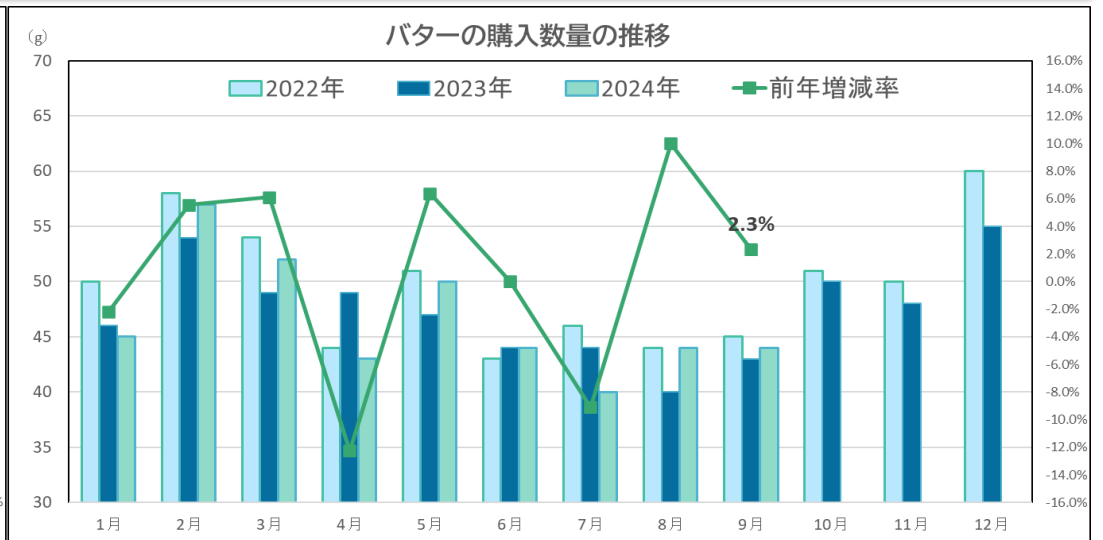
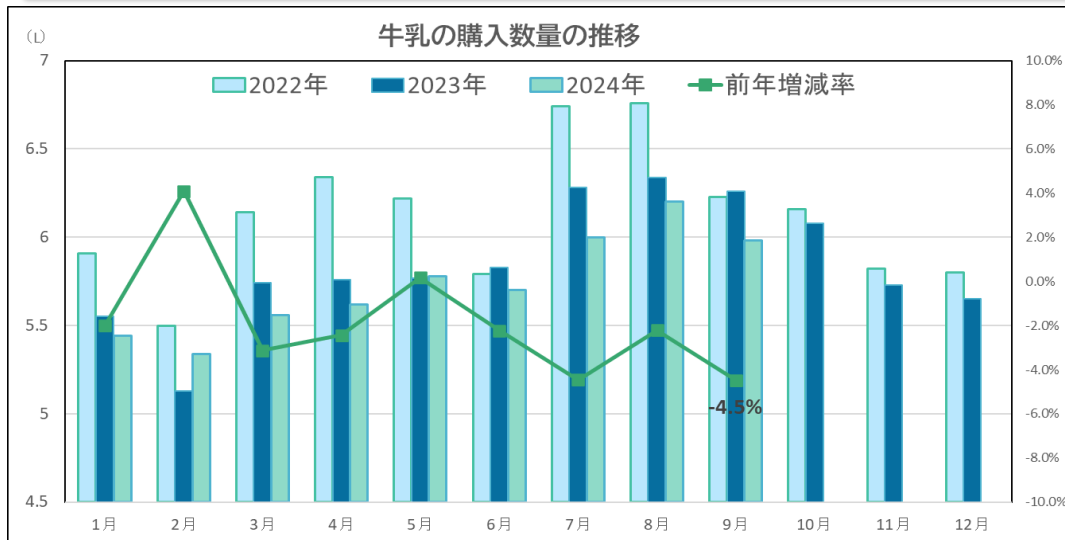
【家計支出の動向】

(1)9月の支出額前年比について、外食112.5%、中食102.0%、内食101.6%といずれも前年を上回り、食料全体への支出額は103.4%となった。  
 (2)牛乳乳製品の支出額も前年比98.7%(うち牛乳97.6%、乳製品99.5%)と18カ月ぶりに前年を下回った。  
 (3)なお、購入量は、牛乳95.5%(1世帯当たり6.0L)と4カ月連続で前年割れ。チーズも前年割れとなった一方、バターは2カ月連続で前年超えとなった。  
 ※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)



【参考:その他品目支出の動向】



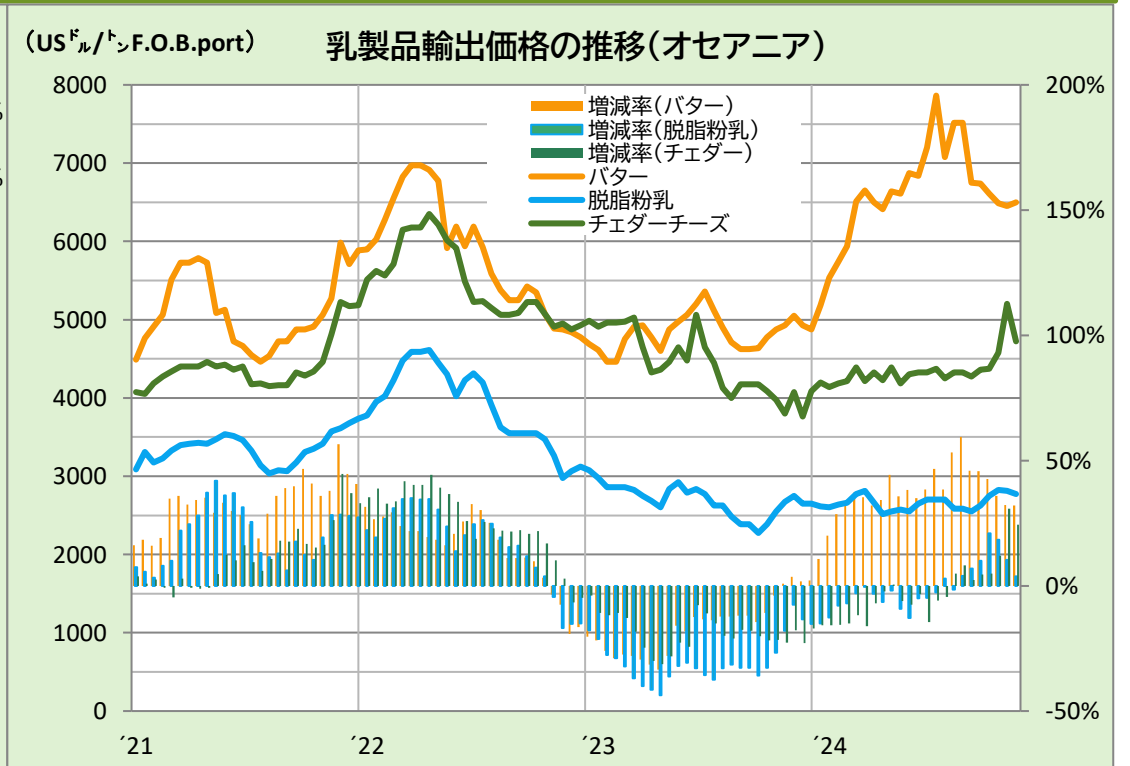
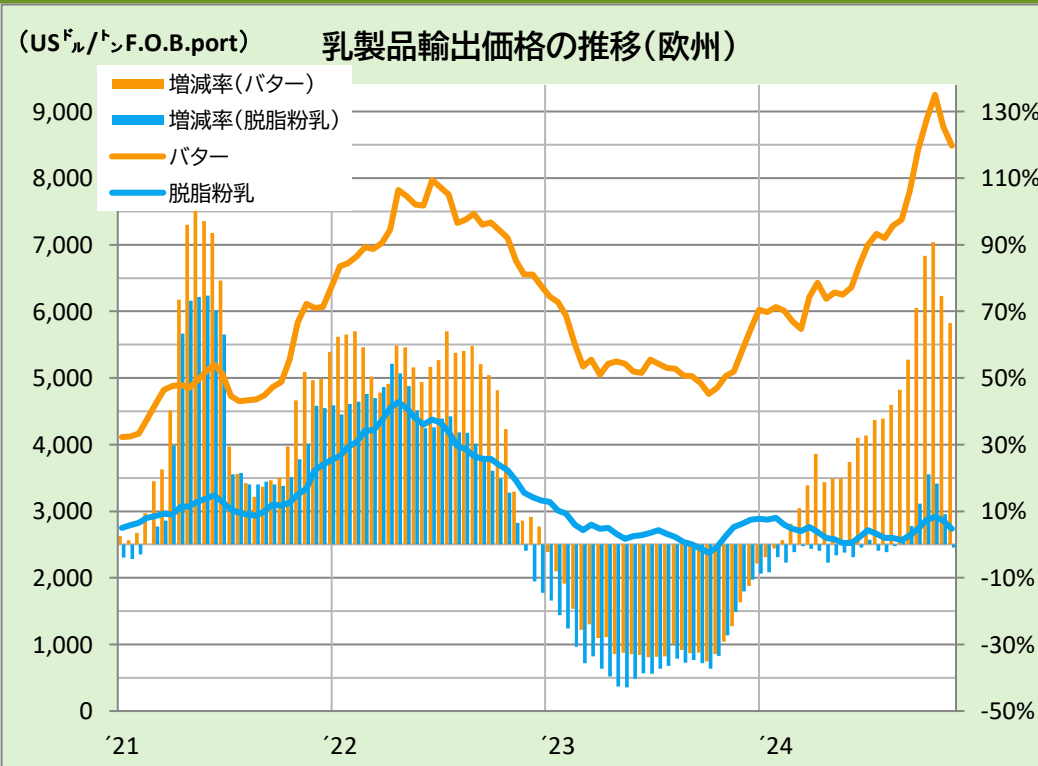


【乳製品輸出価格の動向】

(1)直近の乳製品国際相場について(10月下旬)

- ・欧州:脱脂粉乳2,738ドル/トン、バター8,488ドル/トン中心
- ・オセアニア:脱脂粉乳2,775ドル/トン、バター6,500ドル/トン、チエダーチーズは4,725ドル/トン中心

※出典:米国農務省(USDA)



※「2024年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」